

*対象製品



RS-WFIREX3



REX-WFIREX2



本製品を使い始める

アプリを使いこなす

目次	
セットアップ	10
1 セットアップ前の準備	10
2 カンタン Wi-Fi 接続 (RS-WFIREX3 のみ)	12
3 WPS 接続	14
4 手動接続 (自動検索)	16
5 ステルス接続	18
6 接続の確認	20
7 接続をはじめからやりなおす (ファクトリーリセット)	21
8 リモコンを登録する	22
メイン画面について	24
メニュー	25
編集メニュー	26
家電リモコン一覧	27
リモコン画面について	30
メニュー	31
リモコンを登録する	32
かんたん登録 (プリセットデータを使う)	33
手動学習 その1 (ボタンのテンプレートを使う)	34
手動学習 その2 (エアコンの場合)	36
手動学習 その3 (よく使うボタンだけ作る)	38
オリジナルリモコンの作成	40
オリジナルリモコンを作成する	40
リモコンアイコンの編集	42
リモコンの名前を変更する	43
リモコンを削除する	44
リモコンアイコンを移動する	45
リモコンアイコンの色を変更する	46
ボタンの編集	47
ボタンの名前を変更する	48
ボタンの再学習・追加	49
ボタンを移動する	50
学習内容を削除する	51
ボタンの大きさを変える (ボタン列数変更)	52
家電製品を操作する	53
タイマー予約をする (タイマーのない家電にも設定可能)	54
タイマーのオフ / オン	57
タイマーを削除する	58
ひとつのボタンで複数の操作をする (マクロその1)	61
連続ボタン操作をひとつにまとめる (マクロその2)	65
マクロを削除する	67
よく使うボタンを Android のホーム画面に追加する	69
よく使うボタンを iOS の通知センターに追加する	71

本製品を使い始める

アプリを使いこなす

音声で操作する

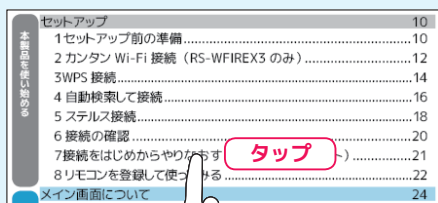
こんなときは

目次

アプリを使いこなす	家外での使用 ^{いそと} 73		
	家外での使用を有効にする.....75		
	外出先から家電製品を操作する.....76		
	外出先から温度・湿度・照度を確認する.....77		
	警告温度を超えたら通知する（センサーアラート機能）.....78		
リモコンデータを他のスマホにコピー	79		
	アプリ間でリモコンデータの受け渡しをおこなう.....80		
	エクスポートファイルを作成する.....82		
	iPhone/iPad にインポートする（パソコンが必要）.....84		
	Android にインポートする.....86		
スマートスピーカーとの連携	87		
	対応スマートスピーカー.....88		
	サポートする音声操作.....88		
	Alexa スキルを登録する.....89		
	家電を指定する.....90		
音声で操作する	音声で操作する（発話例）.....91		
	3	こんにちは	93
	ファームウェアを更新する.....93		
	テザリングで接続する（Android 端末）.....94		
	よくある質問.....95		

PDF 文書内リンクや目次（しおり）をお使いください

本マニュアルは、PDF 形式で提供しています。参照ページや URL アドレスをタップすると、そのページに移動できるようになっています。



→
タップすると参照
ページにジャンプ



操作説明ページの見方

本マニュアルでは、家電リモコンの使い始めからアプリの使いこなしまでのテーマを扱っています。テーマのはじめに目標のイメージを取り入れるなど、直感的でわかりやすい表現方法により説明をおこなっています。

<お願い>

表示方法 (Wi-Fi 設定やメニュー表示位置などの OS 標準機能) はお使いのスマホによって異なります。あらかじめご了承ください。

ボタンひとつで一連の操作が完了

ひとつのボタンで複数の操作をする (マクロその 1)

一度タップするだけで、複数の家電製品の電源を入れる等の操作ができます。

ワンポイント マクロの対象がリモコン
オリジナルリモコンは対象外です。

同時に電源 ON

マクロをタップ

1 メイン画面から [マクロ (一覧 / 設定)] をタップ

① [メニュー] をタップします。

② [マクロ (一覧 / 設定)] をタップします。

3 マクロに操作を登録する

例では、2つの操作を設定します。
・テレビの [電源] を押す
・レコーダーの [電源] を押す

① [TV / セットトップボックス] をタップします。

② [電源] をタップします。

③ ひとつ目の操作 (例はテレビの [電源] を押す) が登録されました。

【追加】をタップして、残りの操作を①～③の要領で登録します。

ワンポイント マクロの編集アイコン

マクロ設定画面には、次のような編集機能があります。

● Android の場合

- 操作を追加
- 操作の順番を移動
- 操作を削除
- 次の操作までの待ち時間を編集

● iPhone/iPad の場合

- 操作を追加
- 操作を削除
- 操作の順番を移動
- 次の操作までの待ち時間を編集

<目次に戻る>

アプリを使いこなす

家電製品を操作する

アプリを使いこなす

家電製品を操作する

● テーマのはじめに目標のイメージを表示しています。

● 操作順に番号と見出しを振っています。

● 画面を示して詳細手順に番号を振っています。

● 青の枠囲いの内容は、例にとった操作の説明やその時点の表示状態についてなどを補足しています。

● 青い塗りの内容は、繰り返しの手順やあらかじめ操作しておく事項などを説明しています。

ワンポイント

アプリへの理解が深まる知識を入れています。

こんなときは

こまったときの対処法などを入れています。

※ 上図は見本ページです。

73

<目次に戻る>

家電・AV機器のリモコンをスマホにひとまとめ スマート家電コントローラ



音声で家電をコントロール 新機能

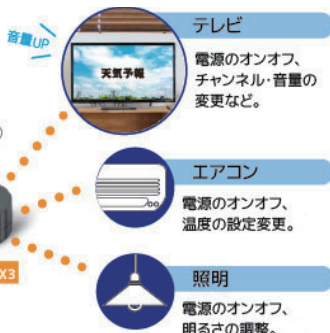


両手がふさがっていても、話しかけて操作できる！



Amazon Echoなどのスマートスピーカー

RS-WFIREX3



AIスピーカーを接続すると、話しかけるだけで家電の操作が可能に。リモコンやスマホを手取ることなく、ハンズフリーでエアコンやテレビ、照明をコントロールできます。(Amazon Alexa 対応、今後 Google アシスタント対応予定)

[スマートスピーカーとの連携 ⇒ 87 ページ](#)

スマホをリモコンとして使う

あふれるリモコンが…

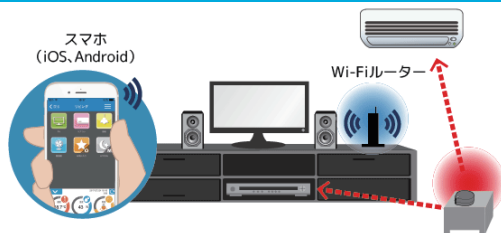


スマホでスッキリ



アプリのリモコン画面から家電製品や AV 機器を操作可能。増え続ける赤外線リモコンを、スマホ 1 台にまとめてスッキリ。リモコンの電池切れや破損、紛失時の予備としても有効です。

リモコン信号を Wi-Fi → 赤外線に変換



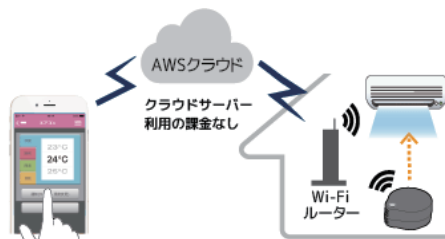
本製品は、スマホやタブレットから Wi-Fi で送られてきたリモコン信号を赤外線に変換。赤外線を送信することで、家電をコントロールします。

- ※ Wi-Fi ルーターがない環境では使用できません。
- ※ 家電製品・AV 機器は赤外線リモコンで操作可能な機器に限ります。

外出時の操作も可能

アプリ上で家外での使用を有効にすると、クラウドサーバーと Wi-Fi ルーター間で通信がおこなえる状態となり、外出先からのリモコン操作が可能に。

帰宅前にエアコンや照明をつけて、快適な状態にしておくことができます。クラウドサーバー利用に伴う課金はありません。



- ※ 外出先と家の中の両方で使用する場合は、家外（いそと）での使用を常に有効にしてお使いください。家外での使用が有効であっても、家の中で使用している（Wi-Fi ルーターに接続している）場合はクラウドサーバーを経由せず、マクロやリモコン登録などすべての機能を使用することができます。
- ※ クラウドサーバーや通信機器・通信回線の不具合により、操作が正常におこなえない場合に発生した問題については、弊社では保証いたしません。

登録済みリモコン（プリセットデータ）を用意 プリセットデータが豊富

／ さまざまな種類・メーカーのリモコンが登録済み！ ／



主なメーカー・機種のリモコンデータを事前に登録済み（プリセット）。アプリ画面にしたがって選択するだけで、すぐに使用できます。

■プリセット済みリモコン一覧

http://www.ratocsystems.com/products/subpage/smartphone/wfirex3_preset.html

プリセットで登録 ⇒ 33 ページ

さまざまな赤外線リモコンを学習可能 手動学習対応

赤外線フォーマット

NEC

家電協

SONY

独自

さまざま赤外線リモコンの信号が登録可能



プリセットされている以外のリモコンは、手動でリモコン信号の登録をおこないます。本製品は、赤外線フォーマットに依存しない学習方式を採用。日本でよく利用される NEC/ 家電協 / SONY フォーマットの他、海外メーカーなどの独自フォーマットも学習させることができます。

リモコンを手動登録 ⇒ 34 ページ

複数のリモコンを組み合わせる

オリジナルリモコン

オリジナルリモコン作成例 登録済みテレビとエアコンのリモコンパーツを組み合わせ



オリジナルリモコンは、登録済みリモコンから一部を切り取って組み合わせ、ひとつのリモコンとして登録する機能です。よく使うリモコンのパーツを集めてひとつのリモコンにすることで、異なる家電製品の操作をする際も、画面の切り替えなしにお使いいただけます。

オリジナルリモコンの作成 ⇒ 40 ページ

指定時刻にリモコン信号を送る

タイマー機能

タイマー機能活用例 指定時間にまとめてON/OFF、不在時の自動操作にも



家電製品や AV 機器にタイマーを設定することができます。家電リモコンユニット本体にタイマー情報が設定され、指定した時刻にリモコン信号を送信。タイマー機能を持たない家電製品や AV 機器であっても、本製品を使えばタイマーで作動させることができます。



タイマー予約をする ⇒ 54 ページ

ひとつのボタンに複数の操作を登録

マクロ機能

マクロ機能活用例 複数のAV機器の電源を順番に入れる



マクロ機能では、ひとつのボタンに複数の操作を登録できます。登録後は、ボタンひとつで一連の操作が完了します。

マクロを登録する ⇒ 61 ページ

部屋の状態がわかる

温度・湿度・照度センサー搭載



製品本体に「温度・湿度・照度センサー」を搭載。アプリ画面で部屋の状況を確認することができます。

外出先から自宅の温度や湿度を見た上で、エアコンなどを稼働するかどうかを判断。帰宅前に部屋の状態を快適にしておくほか、在宅中の高齢者やペットの熱中症対策にも活用できます。照度は、照明を切り忘れていないか確認するのに便利です。

計測データを一定時間ごとに自動更新し、外出時に指定した温度を上回る（または下回る）と通知センターへ警告を表示するように設定することも可能です。

家外での使用 ⇒ 73 ページ

<目次に戻る>

リモコンボタンのウィジェットですばやく操作 ウィジェット作成機能



よく使うリモコンボタンのウィジェットを作成しておくことで、アプリを起動する手間なく操作できます。

Androidでは、ホーム画面のボタンをタップするだけでリモコン信号を送信。iOSでは他のアプリ使用中でも、通知センターからリモコンボタンのタップができるので、ホーム画面に戻る必要はありません。

[よく使うボタンをホーム / ウィジェットに登録 ⇒ 69 ページ](#)

リモコンデータを他のスマホへ受け渡し リモコンデータの共有



登録済みリモコンのデータは、他の端末へ Wi-Fi 経由で簡単に受け渡しできます。複数端末での運用や家族のスマホでデータ共有するのに便利です。ファイルにエクスポートやインポートも OK。

※ マクロ設定、タイマー設定、オリジナルリモコン、ウィジェットの受け渡しはできません。

[リモコンデータを他のスマホにコピー ⇒ 79 ページ](#)

セットアップ

準備と Wi-Fi への接続方法について説明します。

本製品を使い始める

本製品のご使用には Wi-Fi ルーターが必要です。

※ご使用の Wi-Fi ルーターで IP アドレスを手動割り当てに設定して利用されている場合は、自動取得に設定を変更してください。設定方法は、ご使用の Wi-Fi ルーターの取扱説明書をご参照ください。

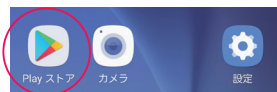
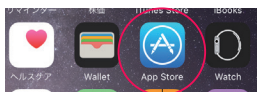
1 セットアップ前の準備

アプリをインストールしてください

無料アプリ



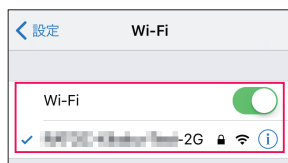
アプリ「スマート家電コントローラ」の最新版をインストールしてください。iOS は App Store、Android は Google Play からダウンロードします。「スマート家電コントローラ」または製品型番で検索してください。



セットアップ

Wi-Fi をオンにして接続先ルーターを指定してください

スマホの Wi-Fi をオンにして、接続先を本製品の接続先ルーターにしておいてください。2.4GHz 帯 (IEEE 802.11 b/g/n) のアクセスポイントを指定してください。(セットアップ後は、5GHz 帯もご使用いただけます)



セットアップ時は、2.4GHz 帯のアクセスポイントに接続しておいてください

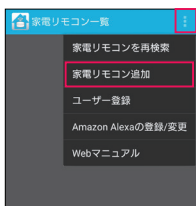
接続方法について (アプリ編)

本製品の Wi-Fi 接続は、アプリのメニュー [家電リモコン追加] からおこないます。接続方法は、Wi-Fi ルーターの指定方法によって 3 種類あります。

iPhone/iPad の場合



Android の場合



●カンタン Wi-Fi 接続 (RS-WFIREX3 のみ)

スマホが接続中のルーターに本製品を接続

●WPS 接続

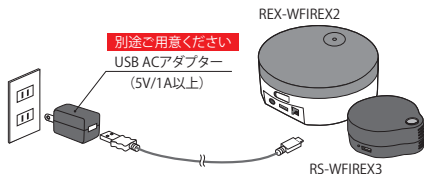
本製品とルーターの WPS ボタンを押して接続

●手動接続

- ・ルーターをリストから選択 (自動検索) して接続
- ・手入力で指定 (ステルス接続) して接続

別途 USB AC アダプターをご用意ください

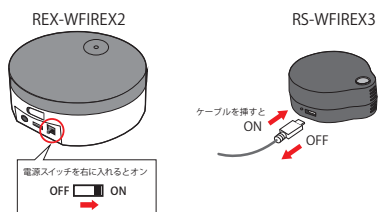
RS-WFIREX3、REX-WFIREX2 には、USB AC アダプターが添付していません。コンセントにつなぐ場合は、別途 USB AC アダプター（5V/1A 以上）をご用意ください。



こんなときは 電池を電源として使う

REX-WFIREX2 では、本体の電池ボックスに単 3 アルカリ電池 4 本（別途ご用意ください）を入れて、電源とすることも可能です。なお、駆動時間は約 12 時間です。

本体の電源について



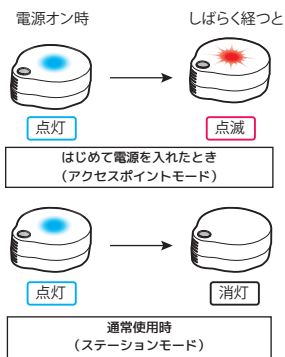
● RS-WFIREX3 の場合

電源スイッチはありません。コンセントに接続すると、電源が入ります。電源入れ直しの際は、いったん電源ケーブルを抜いてから、挿し直してください。

● REX-WFIREX2 の場合

本体背面に電源スイッチがあります。

本体の動作モードについて（全製品共通）



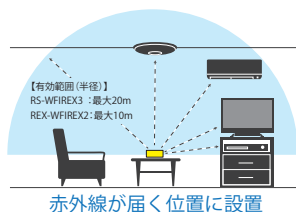
● アクセスポイントモード（初期出荷状態）

本体がどの Wi-Fi ルーターにも接続されていない状態です。はじめて本体に電源を入れたときや、ファクトリーリセットをおこなったあとはこのモード（青 LED 点灯→赤 LED 点滅）で動作します。

● ステーションモード

Wi-Fi ルーターに接続されている通常使用時の状態です。セットアップが正常に終了すると、このモード（LED 消灯）に移行します。

● 設置について



本製品の赤外線が家電製品に届く位置に設置する必要があります。リビングではソファテーブルの上のような場所が、どの家電製品にも赤外線が届きやすくおすすめです。

こんなときは 設置はあとでやり直せる？

本体電源を切っても接続設定は保持されるので、設置位置の調整はセットアップ作業が完了してからでも作業できます。

2 カンタン Wi-Fi 接続 (RS-WFIREX3 のみ)

スマホが接続中の Wi-Fi ルーターに本製品を接続します。

※ REX-WFIREX2 の接続は、「3.WPS 接続」以降を参照ください。

2-1 iPhone/iPad の場合

1 アプリで本製品の情報を取得します



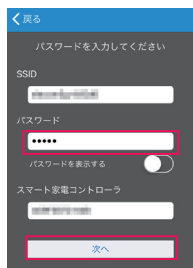
① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品 (RS-WFIREX3) を選択します。

③ 接続方法で「カンタン Wi-Fi 接続」を選択します。

④ 画面に従って進み、本体底面の QR コードを読み取ります。

2 Wi-Fi ルーターの設定をします



① Wi-Fi 設定で、本製品を接続するルーターが指定されていることを確認します。

ワンポイント 2.4GHz 帯のアクセスポイントを指定 IEEE 802.11 b/g/n のSSIDが指定されているか、ご確認ください。5GHz 帯には接続できません。

② アプリに戻って Wi-Fi ルーターのパスワードを入力します。

③ アプリの画面に、本体の電源を入れる旨のメッセージが表示されます。

3 電源を入れて Wi-Fi ルーターに接続開始



① 本製品をコンセントに接続すると、電源が入ります。すでに接続している場合はいったん電源を抜き、再度接続してください。

② 本体 LED が青点滅のうちに「接続する」をタップすると、接続処理が開始します。

③ アプリのメッセージに従って進めます。

接続の確認について ⇒ 20 ページ

2-2 Android の場合

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続すると、電源が入ります（電源スイッチはありません）。

2 アプリで本製品の情報を取得します

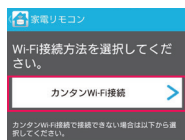


① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品（RS-WFIREX3）を選択します。

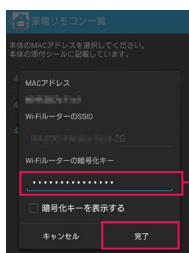
③ 本体赤色 LED が点滅しているのを確認したら「次へ」をタップします。

④ 「カンタン Wi-Fi 接続」をタップします。RS-WFIREX3 が自動検出されます。



⑤ 複数台がリスト表示された場合は、登録するものを選択します。

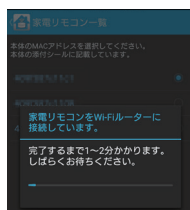
3 Wi-Fi ルーターの設定をします



① Wi-Fi ルーターのパスワードを入力し、[完了] をタップします。

② アプリの画面に、本体の電源を入れ直す旨のメッセージが表示されます。

4 電源を入れ直して Wi-Fi ルーターに接続開始



① いったん電源を抜き再度接続してください。

② Wi-Fi ルーターへの接続処理が開始します。

③ アプリのメッセージに従って進めます。

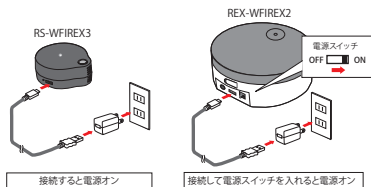
接続の確認について ⇒ 20 ページ

3 WPS 接続

WPS 接続では、時間内にルーターの WPS ボタンと家電リモコン本体の WPS ボタンを押して、Wi-Fi 接続をおこないます。Wi-Fi ルーターが WPS に対応している必要があります。

3-1 WPS で接続 (iPhone/iPad の場合)

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続します。REX-WFIREX2 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで WPS 接続を選択します



- ① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。
- ② 製品を選択します。
- ③ 接続方法で「WPS 接続」を選択します。

3 2 分以内に Wi-Fi ルーターと本製品の WPS ボタンを押します



- ① 画面の「接続する」ボタンをタップすると、待機状態となります。

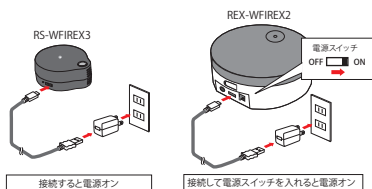
<以下②③を2分以内におこないます>

- ② Wi-Fi ルーターの WPS のボタンを押します。ボタンの押し方は Wi-Fi ルーターの取扱説明書でご確認ください。
- ③ 本体背面の WPS ボタンを押します。青色 LED が点滅しているのを確認します。青点滅でない場合は電源を入れ直して、再度 WPS ボタンを押します
- ④ アプリのメッセージに従って進めます。

接続の確認について ⇒ 20 ページ

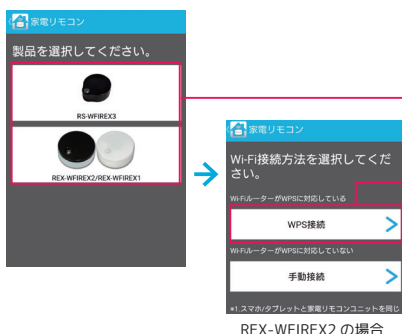
3-2 WPS で接続 (Android の場合)

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続します。
REX-WFIREX2/WIFREX1 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで WPS 接続を選択します

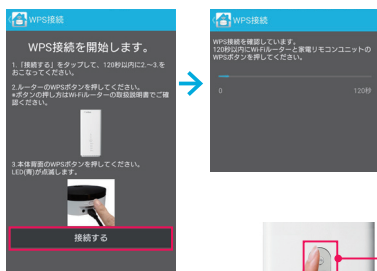


① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品を選択します。

③ 接続方法で「WPS 接続」を選択します。

3 2 分以内に Wi-Fi ルーターと本製品の WPS ボタンを押します



① 画面上の「接続する」ボタンをタップすると、待機状態となります。

<以下②③を 2 分以内におこないます>

② Wi-Fi ルーターの WPS のボタンを押します。
ボタンの押し方は Wi-Fi ルーターの取扱説明書でご確認ください。

③ 本体背面の WPS ボタンを押します。

④ 青色 LED が点滅しているのを確認します。
青点滅でない場合は電源を入れ直して、再度 WPS ボタンを押します

⑤ アプリのメッセージに従って進めます。

REX-WFIREX2 は、WPS ボタンを 1 秒程度押します

RS-WFIREX3 は、WPS ボタンを先の細いもので 1 秒程度押します

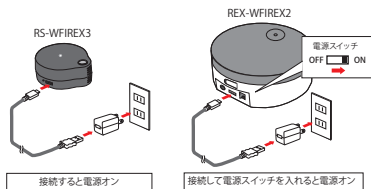
接続の確認について ⇒ 20 ページ

4 手動接続（自動検索）

手動接続では、ネットワークに接続されている Wi-Fi ルーターが自動的に検出されます。家電リモコン本体の接続先は、リストから選択します。

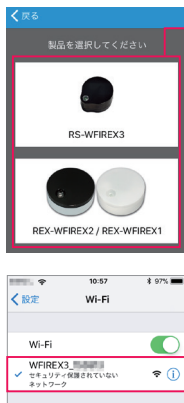
4-1 自動検索して接続（iPhone/iPad の場合）

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続します。REX-WFIREX2 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで本製品の情報を取得します



① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品を選択します。

③ 接続方法で [手動接続] - [自動検索] を選択します。

④ スマホの Wi-Fi 設定に切り替えて、本製品を指定します。

RS-WFIREX3 の SSID は "WFIREX3-xxxxxx"、REX-WFIREX2 の SSID は "WFIREX-xxxxxx" です。

ワンポイント

Wi-Fi マークの表示を確認

画面左上の Wi-Fi マークが表示されてから次のステップへ進みます。

3 Wi-Fi ルーターと接続します



① 家電リモコンアプリに切り替えます

② リストから Wi-Fi ルーターの接続先を選択し、パスワードを入力します。

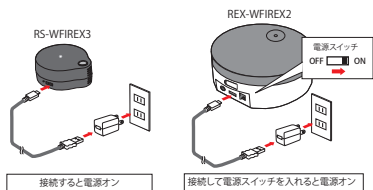
③ 「OK」をタップすると、接続を開始します。

④ アプリのメッセージに従って進めます。

接続の確認について ⇒ 20 ページ

4-2 自動検索して接続 (Android の場合)

1 本体の電源を入れます



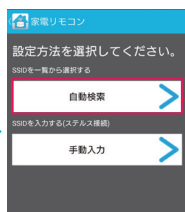
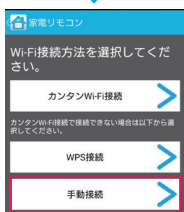
本製品をコンセントに接続します。
REX-WFIREX2/WIFIREX1 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで本製品の情報を取得します



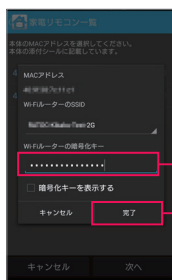
① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品を選択します。



③ 接続方法で [手動接続] - [自動検索] を選択します。

3 Wi-Fi ルーターと接続します



① Wi-Fi ルーターのパスワードを入力します。
最初はスマホが接続している Wi-Fi ルーターが選択されています。プルダウンで Wi-Fi ルーターの接続先を選択することも可能です。

② 「完了」をタップすると、接続処理を開始します。

③ アプリのメッセージに従って進めます。

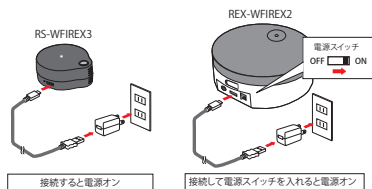
接続の確認について ⇒ 20 ページ

5 ステルス接続

手動接続の手動入力では、家電リモコン本体の接続先(SSID)を手入力します。ステルス接続など、Wi-Fi ルーターの検出ができない場合に利用します。

5-1 手動入力で接続 (iPhone/iPad の場合)

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続します。REX-WFIREX2 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで本製品の情報を取得します



① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品を選択します。

③ 接続方法で [手動接続] - [手動入力] を選択します。

④ スマホの Wi-Fi 設定に切り替えて、本製品を指定します。

RS-WFIREX3 の SSID は "WFIREX3-xxxxxx"、REX-WFIREX2/1 の SSID は "WFIREX-xxxxxx" です。

ワンポイント

Wi-Fi マークの表示を確認

画面左上の Wi-Fi マークが表示されてから次のステップへ進みます。

3 Wi-Fi ルーターと接続します



① 家電リモコンアプリに切り替えます

② Wi-Fi ルーターの接続先とパスワードを入力します。

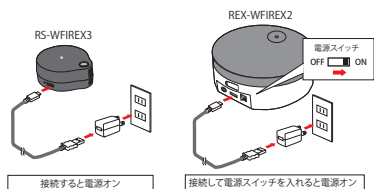
③ 「OK」をタップすると、接続を開始します。

④ アプリのメッセージに従って進めます。

接続の確認について ⇒ 20 ページ

5-2 手動入力で接続 (Android の場合)

1 本体の電源を入れます



本製品をコンセントに接続します。
REX-WFIREX2 は電源スイッチをオンにします。

2 アプリで本製品の情報を取得します



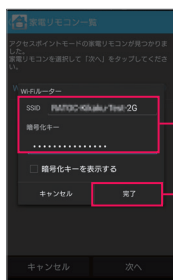
① アプリを起動し、メニューから「家電リモコン追加」を選択します。

② 製品を選択します。



③ 接続方法で [手動接続] - [手動入力] を選択します。

3 Wi-Fi ルーターと接続します



① Wi-Fi ルーターの接続先とパスワードを入力します。最初はスマホが接続している Wi-Fi ルーターが入力されています。

② 「完了」をタップすると、接続処理を開始します。

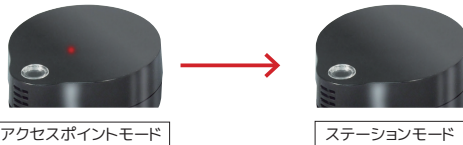
③ アプリのメッセージに従って進めます。

接続の確認について ⇒ 20 ページ

6 接続の確認

本体 LED が消灯したら接続完了

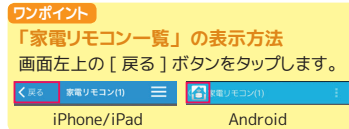
本製品がどの Wi-Fi ルーターにもつながっていない状態（アクセスポイントモード）から、つながっている状態（ステーションモード）に移行すると、赤点滅していた天面 LED は消灯します。



※ セットアップ時、Wi-Fi 接続状況によりアプリが処理中のままとなったりエラーが表示された場合も、本製品と Wi-Fi ルーター間の接続が完了している場合があります。以下の方法でご確認ください。

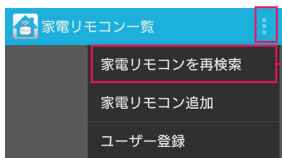
アプリで家電リモコン一覧に表示されているか確認

家電リモコン一覧に、新しい家電リモコンが表示されているか確認してください。

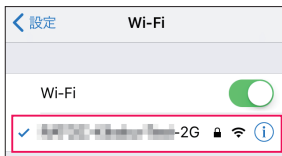


[LED 点灯] をタップすると、本体天面の青色 LED が点灯します。

● 一覧に表示されていない場合



[家電リモコンを再検索] で家電リモコンが見つかるかご確認ください。



スマホの Wi-Fi 接続先 (SSID) として、本製品を接続した Wi-Fi ルーターが指定されているか、ご確認ください。(特に iPhone/iPad の場合は、自動で接続先が切り替わっていることがあります)

接続をやりなおす

接続に失敗している場合は、ファクトリーリセット（次ページ参照）後に再度接続をお試しください。

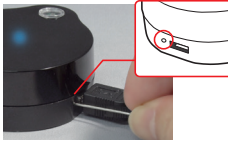
7 接続をはじめからやりなおす（ファクトリーリセット）

スマート家電コントローラは Wi-Fi ルーターと接続をおこなうと、SSID やパスワードなどの情報を内部メモリに記憶します。接続がうまくいかないなど、内部メモリの情報を消去してはじめからやりなおしたいときは、次の手順でファクトリーリセットをおこなってください。

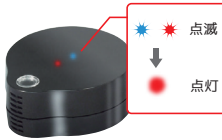
本製品を使い始める

セッティングアップ

7-1 RS-WFIREX3 の場合



- ① 電源が入った状態で、WPS ボタンを先の細いもので約 10 秒間押します。



- ② 青色 LED ・赤色 LED が点滅します。その後、青色 LED が消灯し、赤色 LED が点灯します。

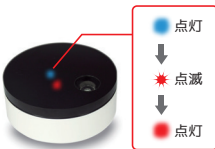


- ③ 本体から USB ケーブルを抜き差しして、電源を入れなおします。

7-2 REX-WFIREX2/WFIREX1 の場合



- ① WPS ボタンを押しながら、電源を入れます。（ボタンから指を離さないでください）



- ② 本体 LED が青点灯から赤点滅になります。WPS ボタンを押し続けます。

- ③ 赤点灯になったら、ボタンから指を離します。



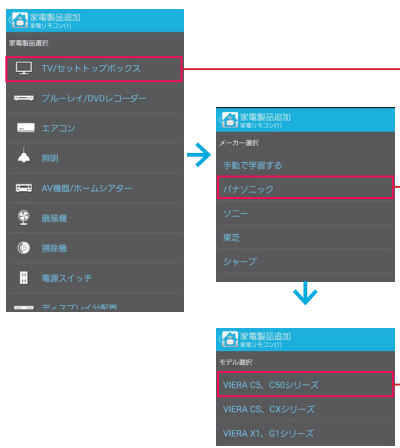
- ④ いったん本体の電源を切り、電源を入れなおします。

8 リモコンを登録する

本体との接続に成功すると次のような家電製品の選択画面が表示されます。リモコンを登録してさっそく使ってみましょう。

1 家電製品を選択する

例では、テレビのリモコンを登録します。



① [TV/セットトップボックス] をタップします。

② メーカーを選択します。

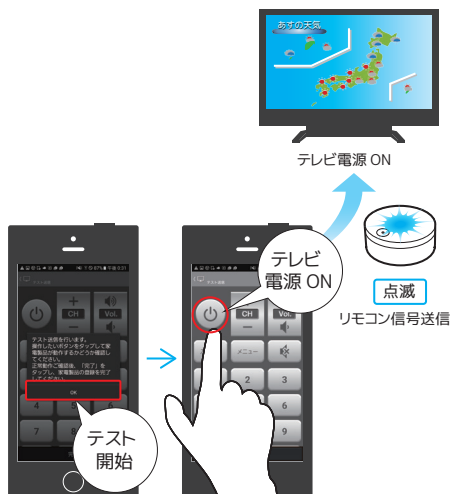
③ 機種を選択します。

ワンポイント
該当機種がないときは類似製品を選択

アプリにはあらかじめ多くの家電製品のリモコンデータを用意しています。これを選択データと呼びます。ご使用のモデルがない場合は、その製品に近いモデルのプリセットデータを選択してお試しください。

2 テスト用の画面が表示されるので、ボタンを押して試してみる

例は、テレビの電源ボタンを押しています。



テレビ電源 ON

点滅

リモコン信号送信

テスト開始

リモコン信号の送信中はLEDが青点滅します。

こんなときは

反応がない

家電製品に赤外線が届いていない可能性があります。家電リモコンの設置位置を調整して再度お試しください。

4 試し終わったら [完了] をタップする



こんなときは

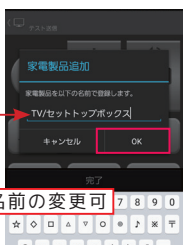
別のプリセットデータに変更したい

画面上部の [< (戻る)] をタップすると、モデル一覧から選択しなおせます。

- Android の場合
- iPhone/iPad の場合



5 リモコンの名前を確認して [OK] をタップする



「登録が完了しました。」メッセージが表示されると、リモコン登録は完了です。

6 メイン画面に戻る



① 画面上部の [< (iPhone/iPad は戻る)] をタップします。

- Android の場合
- iPhone/iPad の場合



② メイン画面にリモコンのアイコンが登録されています。

以上で、家電リモコンのセットアップは完了です。
次のページなどを参照して、アプリ「家電リモコン」を使いこなしましょう。

- メイン画面について ⇒ 24 ページ
- リモコン画面について ⇒ 30 ページ

メイン画面について

アプリを起動するとメイン画面が表示されます。

メイン画面から操作したい家電製品のリモコンをタップし、家電製品の操作を始めることができます。また、製品本体のセンサーが取得した温度・湿度・照度が表示されるので、室内の環境を知ることができます。

アプリを使いこなす

メイン画面について

< (戻る)

前の画面に戻ります。

● Android の場合 ● iPhone/iPad の場合



メニュー

リモコンの新規登録やタイマー予約などのメニューを表示します。

⇒ 25 ページ



『メニュー画面』

製品本体の名前

名前をタップ [iOS の場合は < (戻る) をタップ] すると使用中のスマート家電コントローラ本体を一覧で表示します。

⇒ 27 ページ

リモコンアイコン

タップすると家電製品のリモコン画面を表示します。

⇒ 30 ページ



『リモコン画面』

リモコンアイコンをロングタップした場合は、名前変更や削除などの編集メニューを表示します。

⇒ 26 ページ



『編集メニュー画面』

オリジナルリモコンアイコン

「O」マークの付いたアイコンは、オリジナルリモコンアイコンです。オリジナルリモコンとは、いろいろなリモコンから使いたいボタンを集めたリモコンです。

⇒ 40 ページ

マクロアイコン

「M」マークの付いたアイコンは、マクロアイコンです。タップすると複数の家電製品を一括操作できます。

⇒ 61 ページ



『メイン画面』

温度・湿度・照度

製品本体に搭載のセンサーが取得した値が表示されます。

閉じる


温度・湿度・照度の表示を閉じます。

センサー更新

温度・湿度・照度の表示を最新のセンサー値に更新します。

メニュー



メイン画面上の  (メニュー) をタップすると、次の設定や機能が利用できます。

- Android の場合



- iPhone/iPad の場合



ポイント メニューボタンの場所

Android では画面下部に表示されていたり、スマホ本体の物理ボタンになっていたり、機種によってさまざまな形があります。

アプリを使いこなす

メイン画面について

家電製品追加	リモコンを新規で登録します。⇒ 32 ページ
オリジナルリモコン作成	いろいろなリモコンをパーツ単位で組み合わせたオリジナルリモコンを作成します。⇒ 40 ページ
<small>いそと</small> 家外設定	次の機能を設定できます。 ・家外での使用を有効にする ⇒ 75 ページ ・設定温度を超えたら通知する (センサーアラート機能) ⇒ 78 ページ
タイマー (一覧 / 設定)	予約した時間や曜日に、指定した家電製品を操作するための設定です。タイマーの設定数には上限があります。⇒ 53 ページ
マクロ (一覧 / 設定)	1 つのリモコンアイコンをタップするだけで、複数の家電製品を一括操作できるようにするための設定です。⇒ 61 ページ
リモコンデータ受け渡し ⇒ 79 ページ	受信 データを受け取る側の端末は「インポート」を選択します。 送信 データを送る側の端末は「エクスポート」を選択します。
バージョン情報	アプリ、本体ファームウェア、本体 Wi-Fi モジュールのバージョンと MAC アドレスを確認できます。
通知センターにボタン追加 (iPhone/iPad の場合のみ)	よく使うリモコンのボタンを iOS の通知センターにショートカットとして追加します。⇒ 71 ページ

編集メニュー



アプリを使いこなす

メイン画面上的のリモコンアイコンをロングタップすると、次の編集機能が利用できます。

メイン画面について

名前変更	リモコンアイコンの名前を変更します。 ⇒ 43 ページ
削除	リモコンアイコンを削除します。 ⇒ 44 ページ
順番入替	リモコンのアイコンを並び替えます。 ⇒ 45 ページ ※ iPhone/iPad はリモコンアイコンの移動に対応していません。
色変更	リモコンアイコンの色を変更します。 ⇒ 46 ページ

家電リモコン一覧

使用中の家電リモコンが一覧で表示されます。使用中のモードや製品本体の、電池残量などを確認できます。

例は家電リモコンを 2 台使用している場合です。

この画面への行き方

メイン画面 (⇒ 24 ページ) で [< (戻る)] をタップします。

いえと
家外の無効 / 有効表示
家外設定が ON のときは「家外有効」、OFF のときは「家外無効」を表示します。

製品本体の名前
タップするとメイン画面を表示します。ロングタップすると製品本体の名前を変更できます。

メニュー

- 家電リモコンを再検索
同じネットワーク上にある製品本体を探して表示します。
- 家電リモコン追加
製品本体を追加登録するときに使用します。
- ユーザー登録
今後のサービス提供やサポートのための登録をおこないます。
- Amazon Alexa の登録 / 変更
Amazon Alexa 対応スピーカーとの連携に関する設定をおこないます。
- Web マニュアル
使い方を表示します。インターネットへの接続が必要です。

電池残量
REX-WFIREX2 のみ、電池残量が 4 段階で表示されます。

LED 点灯
タップすると製品本体の LED (青) が点灯します。どの家電リモコンと接続しているのが確認できます。

◆ 編集画面

● Android の場合

製品本体の名前をロングタップすると、編集画面に切り替わります。

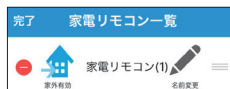
削除
アプリから製品本体と登録済みのリモコンデータを削除します。

名前変更
製品本体の名前を変更します。

順番入替
ドラッグして表示順を変更します。

● iPhone/iPad の場合

画面左上の「編集」をタップすると、編集画面に切り替わります。



< 目次に戻る >

家電リモコンが複数台ある場合のメイン画面の切り替え

家電リモコンが複数台ある場合は、家電リモコン一覧からメイン画面（リモコンが登録されている画面）を切り替えて使用してください。

1 家電リモコン一覧を表示する



例では「家電リモコン (1)」から「家電リモコン (2)」に切り替えます。

[< (戻る)] をタップします。

家電リモコン一覧が表示されました。

アプリを使いこなす

2 使用したい家電リモコンの名前をタップする



製品本体の名前「家電リモコン (2)」をタップします。

「家電リモコン (2)」のメイン画面に切り替わりました。

こんなときは 本体の見分けがつかない

[LED 点灯] をタップして LED が青点灯するかどうかで見分けられます。



ワンポイント 部屋ごとに使い分け

LED で本体を確認したあと、名称を「リビング」「書斎」などにしておくと、複数の部屋に設置した場合に便利です。



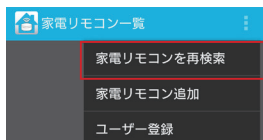
名称の変更手順 ⇒ 27 ページ

メイン画面について

2 台目のスマホ / 本製品を接続する

2 台目のスマホを接続する

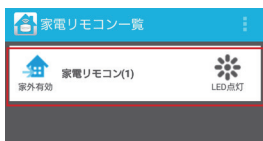
接続済みの本製品を複数台のスマホから使用する場合は、以下の手順でスマホを追加します。



① スマホを本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続します。

② [家電リモコン一覧] のメニューから [家電リモコンを再検索] をタップします。

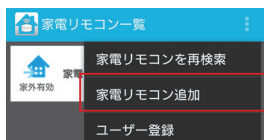
③ 「新しい家電リモコンが見つかりました」が表示されたら [OK] をタップします。



④ [家電リモコン一覧] に追加されます。

2 台目の本製品を接続する

接続済みの本製品がすでにある状態で、さらに本製品を追加登録する場合は、以下の手順でおこないます。



① 本製品の電源を入れ、天面 LED が赤点滅（アクセスポイントモード）になっていることを確認します。

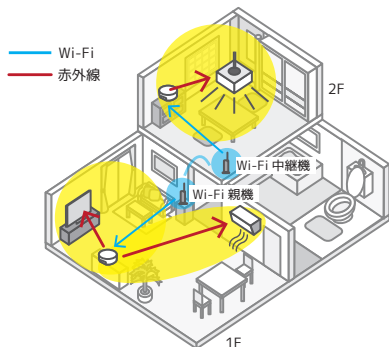
② アプリの [家電リモコン一覧] 画面右上のメニューから [家電リモコン追加] をタップします。

③ 以下、1 台目と同じ手順で接続の設定をおこないます。

接続手順は ⇒ 12 ページ



④ [家電リモコン一覧] に追加されます



● 複数台の設置について

Wi-Fi ルーターの電波が届く範囲であれば、複数の部屋に家電リモコンを設置して利用できます。遮蔽物（壁）によって Wi-Fi の電波は弱まりやすいため、各部屋は中継器の利用をお勧めします。

本製品の赤外線の有効範囲は、RS-WFIREX3 が約 20m、REX-WFIREX2/WFIREX1 が約 10m です。家電製品に赤外線が届きやすい距離・位置に本製品を設置してください。

リモコン画面について

リモコンアイコンをタップするとリモコン画面が表示されます。

リモコン画面には家電製品を操作するためのボタンが配置されています。テレビのような縦長リモコンでは画面を縦スクロールして使用します。また、リモコン画面上に足りないボタンがあれば追加機能で補うことができます。

アプリを使いこなす

リモコン画面について



例はテレビのリモコンです。

リモコンの名前

リモコンの名前が表示されます。

メニュー

ボタンの再学習や名前変更などのメニューを表示します。

⇒ 31 ページ

ワンポイント 縦スクロール対応

テレビやレコーダーのような縦長リモコンは縦スクロール対応でリモコン画面を表示します。

標準ボタン (レイアウト固定)

方向ボタンなど家電製品でよく使われるボタンはリモコン画面上部に集まっています。このボタンは名前変更や移動などによるレイアウトは変更できません。

カスタムボタン (レイアウト可変)

リモコン画面下部に集まっているボタンは名前変更や移動などによってレイアウトを変更できます。お客様が追加したボタンも、可変レイアウトのボタンとして登録されます。

※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。

テレビの場合



エアコンの場合




照明の場合

標準ボタン

カスタムボタン

メニュー

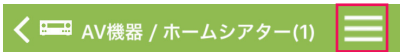


リモコン画面上の  (メニュー) をタップすると次の設定や機能が利用できます。

- Android の場合



- iPhone/iPad の場合



※標準ボタンだけ配置されているリモコン(エアコンなど)では、再学習・学習内容削除・名前変更の機能のみ利用できます。

アプリを使いこなす

リモコン画面について

再学習	ボタンにリモコン信号を再度学習させたり、追加の学習をおこないます。⇒ 49 ページ
学習内容削除	リモコンのボタンを削除します。⇒ 51 ページ
名前変更	ボタンの名前を変更します。⇒ 48 ページ
移動	ボタンのドラッグで、ボタンの並び順を変更します。⇒ 50 ページ ※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。
列数変更	ボタンの配列を変更します。列数を増やしたり、減らしたりすることでボタンの大きさが変わります。⇒ 52 ページ

リモコンを登録する

いろいろな方法で家電製品のリモコンをアプリに登録できます。

家電製品のリモコンをアプリに登録します。アプリにはプリセットデータが用意されています。家電製品を選択するだけで、リモコンを登録できます。また、プリセットデータがないものは、手動学習機能を使って登録します。

かんたん登録（プリセットデータを使う）

学習不要！すぐに使える



家電製品の種別、メーカー、機種を画面から選択するだけでリモコンが使えるようになります。

⇒ 33 ページ

手動学習 その 1（ボタンのテンプレートを使う）



家電製品によくあるボタンがレイアウトされたテンプレートを使ってリモコンを作成します。

⇒ 34 ページ

ワンポイント テンプレートがある家電製品

TV / セットトップボックス、ブルーレイ / DVD レコーダー、照明、エアコン

手動学習 その 2（エアコンの場合）



運転方法、温度設定、風量設定をセットで学習する必要があります。

⇒ 36 ページ

手動学習 その 3（よく使うボタンだけ作る）



よく使うボタンだけを集めたリモコンを作成できます。

⇒ 38 ページ

※『プリセットデータ』とは、主な家電製品のリモコン信号をあらかじめアプリに組み込んでいるデータのこと。さまざまな家電製品を追加したプリセットデータを、アプリのアップデートで提供しています。

※本製品は、日本でよく採用されている NEC、家電協、SONY の 3 種類以外に、海外メーカーの独自フォーマットなど、あらゆる赤外線リモコンの通信フォーマットに対応しています。

種別・型番を選ぶだけでリモコンを登録

かんたん登録（プリセットデータを使う）

家電製品の種別、メーカー、機種を画面から選択するだけでリモコンが使えるようになります。

1 [メニュー] から [家電製品追加] をタップ



2 家電製品、メーカー、モデルを選択



例では、テレビを選択しています。

ワンポイント

類似製品のプリセットデータを使う

ご使用のモデルがない場合は、その製品に近いモデルのプリセットデータを試すのがお勧めです。

3 テスト送信したら [完了] をタップ



こんなときは 別のプリセットデータに変更したい

画面上部の [< (戻る)] をタップすると、モデル一覧から選択しなおせます。

4 [OK] をタップして登録完了



名前の変更可

<目次に戻る>

アプリを使いこなす

リモコンを登録する

プリセットデータにメーカーやモデルが見当たらないとき

手動学習 その1 (ボタンのテンプレートを使う)

家電製品によくあるボタンがレイアウトされたテンプレートを使ってリモコンを作成します。ボタンひとつひとつにリモコン信号の学習が必要です。

ワンポイント テンプレートがある家電製品

TV/ セットトップボックス、ブルーレイ / DVDレコーダー、エアコン、照明

テンプレート上の
ボタンをタップ



学習

リモコンのボタンを押す



学習完了

記号 / 文字が黒くなる



他のボタンの学習を繰り返す

それぞれのボタンにリモコン信号の学習をおこないます

アプリを使いこなす

リモコンを登録する

1 家電製品を選択して [手動で学習する] をタップ



はじめの画面への行き方

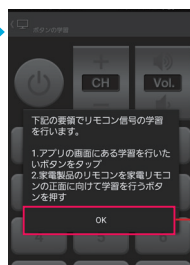
[メニュー] - [家電製品追加] をタップして家電製品選択の画面を表示しておきます。

① 家電製品をタップします。

例ではテレビを選択しています。

② [手動で学習する] をタップします。

よくあるボタンがレイアウトされたテンプレートが表示されます。



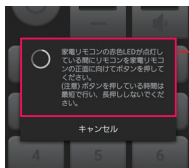
③ 画面のメッセージをよく読み、学習手順を把握したら [OK] をタップします。

2 ボタンの学習をおこなう

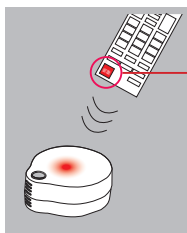


例では、テレビの電源ボタンを学習します。

① 学習をおこなうボタンをタップします。



② 画面のメッセージをよく読みます。



学習モードの間は、製品本体のLEDが赤色に点灯します。

こんなときは LED が点灯しない

再度、ボタンをタップして学習モードになるかお試しください。

③ 学習させたいリモコンのボタン（例は電源ボタン）を製品本体に向かって押します。

④ 学習が完了すると、ボタンの記号や文字の色が濃くなります。



続けて①～④の要領で、他のボタンも学習をおこないます。

こんなときは 学習を間違ったとき

再度、ボタンをタップすると学習し直せます。

⑤ すべての作業が終われば [完了] をタップします。

3 [OK] をタップして登録完了



学習をおこなったボタンだけ登録されます。

※ iPhone/iPadは未学習ボタンも表示されます。

ワンポイント 登録完了後のボタンの編集

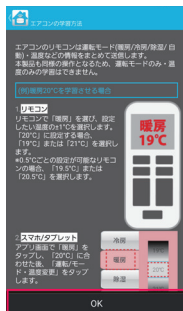
登録を完了しても、ボタンの再学習、学習内容の削除、追加などができます。⇒ 47 ページ

[<目次に戻る>](#)

手動学習 その 2 (エアコンの場合)

エアコンのボタンがレイアウトされたテンプレートを使って、リモコンを作成します。運転方法・温度設定・風量設定をセットで学習する必要があります。

1 エアコンを選択して [手動で学習する] をタップ



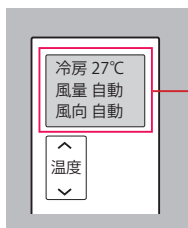
はじめの画面への行き方

[メニュー] - [家電製品追加] - [エアコン] - [手動で学習する] をタップします。

画面のメッセージをよく読み、学習手順を把握したら [OK] をタップします。

アプリを使いこなす

2 ボタンの学習をおこなう

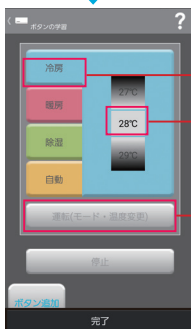


例では、「冷房 28°C、風量 / 風向 自動」を学習します。

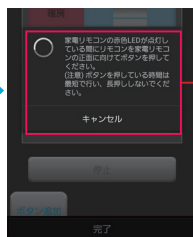
① エアコンのリモコンで次のように選択します。

運転種別 : 冷房
温度 : 27°C (または 29°C) ※
風量 / 風向 : 自動

※学習させるには温度ボタンを押す必要があるため、設定したい温度の±1°C (0.5°C刻みのリモコンなら±0.5°C) にしておきます。



② 画面を [冷房]・[28°C] にあわせ、[運転 (モード・温度変更)] をタップします。



③ 学習モードが始まります。画面のメッセージをよく読みます。

学習モードの間は、製品本体の LED が赤色に点灯します。

こんなときは LED が点灯しない

再度、ボタンをタップして学習モードになるかお試しください。

リモコンを登録する



④ 温度ボタンを製品本体に向けて押します。

⑤ 学習が完了すると、文字の色が濃くなります。

続けて①～⑤の要領で、他のボタンも学習をおこないます。

ワンポイント 「停止」の学習

停止を学習するときは、運転中にリモコンの停止ボタンを押します。

こんなときは すべてのボタンに学習が必要？

普段よく使う設定のみ学習しておきましょう。

こんなときは 学習を間違ったとき

再度、ボタンをタップすると学習し直せます。

⑥ すべての作業が終われば [完了] をタップします。

3 [OK] をタップして登録完了

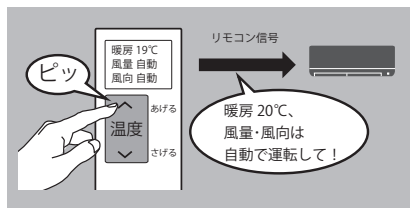


学習をおこなった温度だけの表示に変わります。

ワンポイント 登録完了後のボタンの編集

登録を完了しても、ボタンの再学習、学習内容の削除、追加などができます。⇒ 47 ページ

● エアコン学習のコツ



エアコンのリモコンボタンは、冷房・暖房・温度(°C)・風量・風向などの情報をまとめて送信しています。本製品でも同じように送信できるように設定する必要があり、運転のみや温度のみの学習をおこなうことはできません。

■ 学習するリモコン信号の準備

エアコンのリモコンボタンは、ボタンを押す度に温度が上がったり、モードを変更したりします。設定したい温度やモードの、ひとつ手前の状態にしておきましょう。

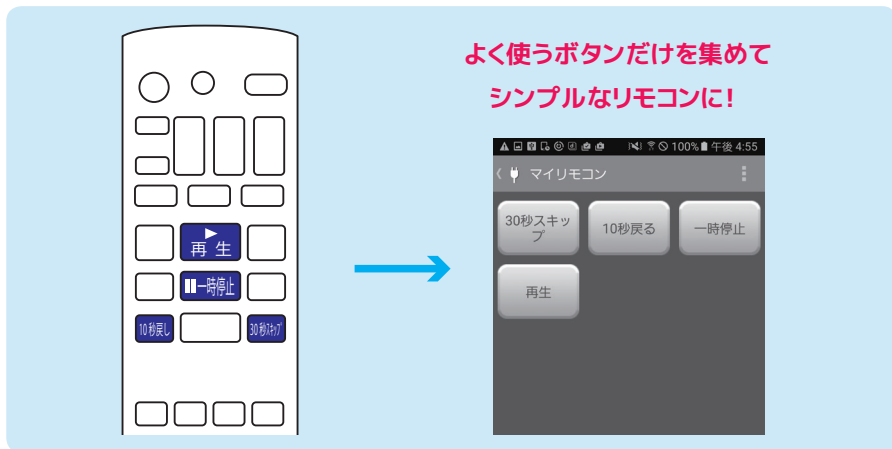
配置するボタンを好みにアレンジ

手動学習 その3 (よく使うボタンだけ作る)

よく使うボタンだけを集めたリモコンを作成できます。

アプリを使いこなす

リモコンを登録する



1 家電製品を選択して [手動で学習する] をタップ

はじめの画面への行き方

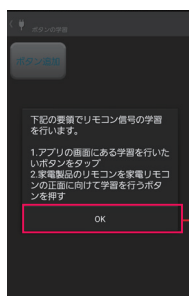
[メニュー] - [家電製品追加] をタップして家電製品選択画面を表示しておきます。



① [その他の機器] をタップします。



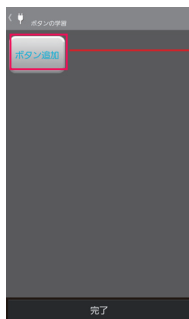
② [手動で学習する] をタップします。



ボタンが1つだけレイアウトされた画面が表示されます。

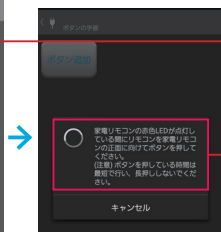
③ 画面のメッセージをよく読み、学習手順を把握したら [OK] をタップします。

2 ボタンの学習をおこなう



例では、レコーダーの 30 秒スキップを学習します。

① [ボタン追加] をタップします。

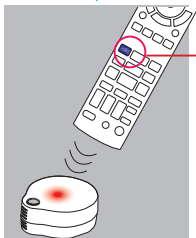


② 画面のメッセージをよく読みます。

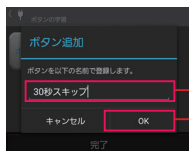
学習モードの間は、製品本体の LED が赤色に点灯します。

こんなときは LED が点灯しない

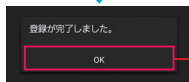
再度、ボタンをタップして学習モードになるかお試しください。



③ 学習させたいリモコンのボタン（例は 30 秒スキップボタン）を製品本体に向かって押します。



④ 学習が完了すると、ボタンの名前入力画面が表示されます。名前を入力して [OK] をタップします。

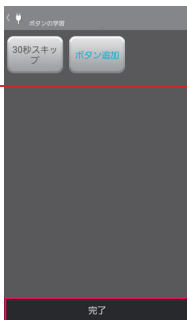


⑤ ボタンの登録が完了しました。[OK] をタップします。

続けて①～⑤の要領で、他のボタンも学習をおこないます。

こんなときは 学習を間違ったとき

再度、ボタンをタップすると学習し直せます。



⑥ すべての作業が終われば [完了] をタップします。

アプリを使いこなす

リモコンを登録する

3 名前を入力後、[OK] をタップして登録完了



名前を入力

ワンポイント 登録完了後のボタンの編集

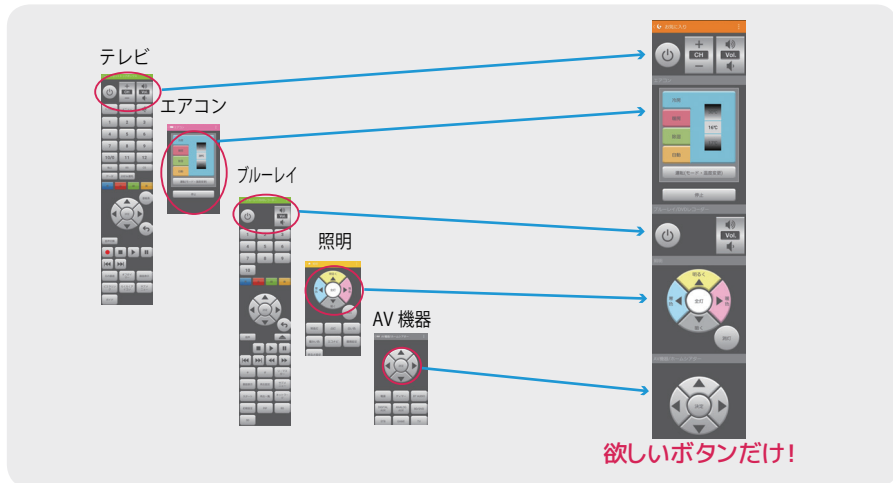
登録を完了しても、ボタンの再学習、学習内容の削除、追加などができます。⇒ 47 ページ

<目次に戻る>

オリジナルリモコンの作成

登録済みのリモコンの中から、よく使うボタンだけを集めて作成します。

登録済みのリモコンの中から、よく使うボタンだけを集めて、ひとつのリモコンを作成します。オリジナルリモコンは、学習済みの記号ボタンや文字ボタンで簡単に作成できます。



アプリを使いこなす

オリジナルリモコンの作成

作成したオリジナルリモコンでは利用できない機能や設定があります

- マクロ
- タイマー
- ウィジェット (Android)
- 通知センターにボタン追加 (iOS)
- リモコンデータの受け渡し (インポート・エクスポート)

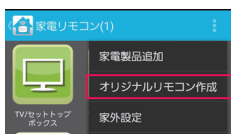
※ iPhone/iPad では同じ種類の枠は選択できません。

(例：テレビの電源とブルーレイレコーダーの電源や 2 種類のエアコンの登録など)

オリジナルリモコンを作成する


登録済みのリモコンの中から、よく使うボタンだけを集めて作成します。

1 [メニュー] から [オリジナルリモコン作成] をタップ




2 オリジナルリモコンに名前とアイコンを付けます

① 名前をタップし、編集します。

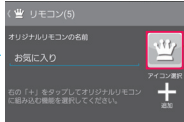


② [アイコン選択] をタップします。

③ 選択したいアイコンをタップします。



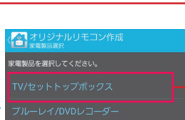
アイコンが変更されました。




3 登録済みのリモコンからボタンを選択します

例では、TVの電源ボタン・選局ボタン・音量ボタンを選択します。


① [追加] をタップします。



② [TV/セットアップボックス] をタップします。




③ 電源ボタン・選局ボタン・音量ボタンの枠内をタップします。



ポイント 記号ボタンはセットで選択
セット単位での選択となり、枠内のボタンすべてがオリジナルリモコンに登録されます。


ボタンがオリジナルリモコンに登録されました。




他の家電製品のボタンも、①～③の要領で選択します。

4 [完了] をタップすると作成完了


① [完了] をタップします。



② [< (戻る)] をタップします。



メイン画面にアイコンが登録されます。オリジナルリモコンアイコンには「O」がつきます。



リモコンアイコンの編集

登録した家電製品のリモコンは次のような変更や削除などができます。

登録したリモコンの名前や色を変更したり、使用しなくなったリモコンを削除したりすることができます。アイコンの位置を移動することもできます。

リモコンの名前を変更する



選択したリモコンに新しい名前を付けます。

⇒ 43 ページ

リモコンを削除する



選択したリモコンを削除します。

⇒ 44 ページ

リモコンアイコンを移動する



リモコンのアイコンを並び替えます。アイコンをドラッグして移動します。

⇒ 45 ページ

※ iPhone/iPad はリモコンアイコンの移動に対応していません。

リモコンアイコンの色を変更する



選択したリモコンアイコンの色を変更します。

⇒ 46 ページ

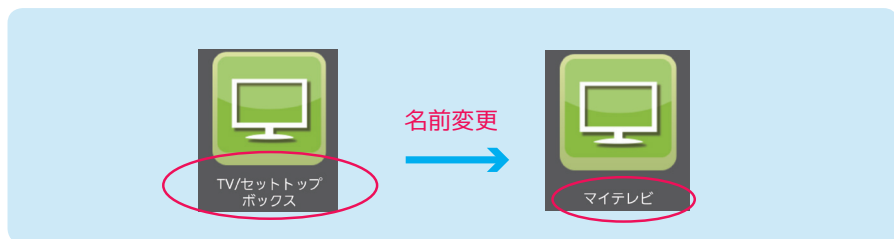
●リモコンアイコンが隠れて見えないとき



[V] をタップしてセンサー表示（温度・湿度・照度）を隠します。画面を元に戻したいときは [A] をタップします。

リモコンの名前を変更する

選択したリモコンに新しい名前を付けます。



1 名前を変更したいリモコンアイコンをロングタップして [名前変更] をタップ



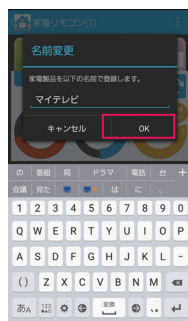
例では、「TV/セットアップボックス」の名前を変更します。

[名前変更] をタップします。

アプリを使いこなす

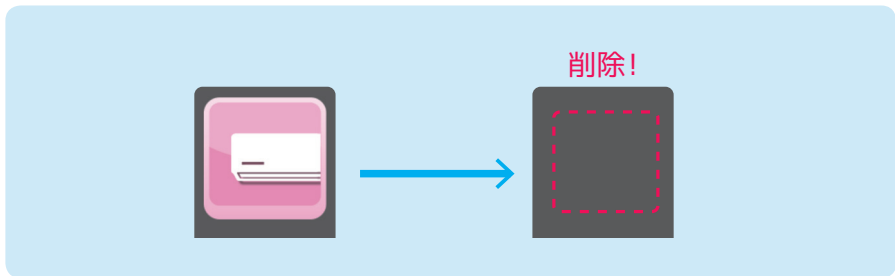
リモコンアイコンの編集

2 新しい名前を入力して [OK] をタップすると変更完了



リモコンを削除する

選択したリモコンを削除します。



アプリを使いこなす

リモコンアイコンの編集

1 削除したいリモコンアイコンをロングタップして [削除] をタップ



例では、「エアコン」を削除します。

2 [はい] をタップして削除完了



ワンポイント アイコンは自動整列

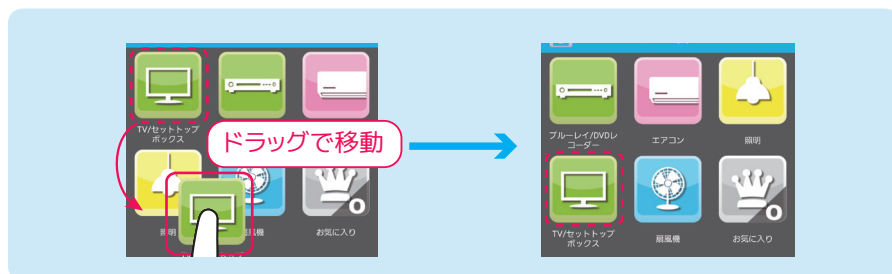
削除されたアイコンは図のように水平方向にスペースを詰めて再整列がかかります。



リモコンアイコンを移動する

リモコンのアイコンを並び替えます。アイコンをドラッグして移動します。

※ iPhone/iPad はリモコンアイコンの移動に対応していません。



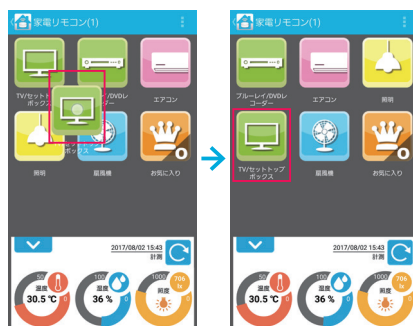
アプリを使いこなす

リモコンアイコンの編集

1 移動したいアイコンをロングタップして [順番入替] をタップ



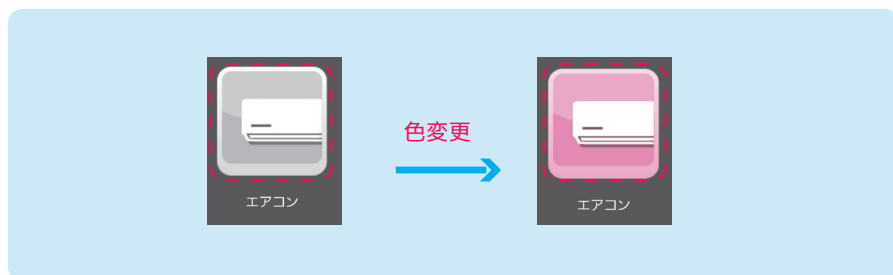
2 移動したい場所にアイコンをドラッグして移動完了



例では「TV/ セットトップボックス」を1つ下に移動します。

リモコンアイコンの色を変更する

選択したリモコンアイコンの色を変更します。



アプリを使いこなす

リモコンアイコンの編集

1 色を変更したいリモコンアイコンをロングタップして [色変更] をタップ



例では、「エアコン」の色を変更します。

2 置き換えたい色のアイコンを選んで完了



各リモコンのヘッダー部分も、選択した色になります。



ボタンの編集

いろいろな方法でボタンの登録を変更できます。

リモコン画面上的ボタンは、名前を変更したり、削除したり、移動したりすることができます。また、ボタンの学習内容を変えることもできます。

ボタンの名前を変更



ボタンに表示されている名前を変更します。

⇒ 48 ページ

ボタンの再学習・追加



ボタンの学習内容を変えたいときや、ボタンを追加したいときに再学習をおこないます。

⇒ 49 ページ

ボタンを移動する



ボタンをドラッグして並び替えができます。

⇒ 50 ページ

※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。

学習内容を削除する



リモコン画面からボタンを取り除くことができます。

⇒ 51 ページ

ボタンの大きさを変える（列数変更）

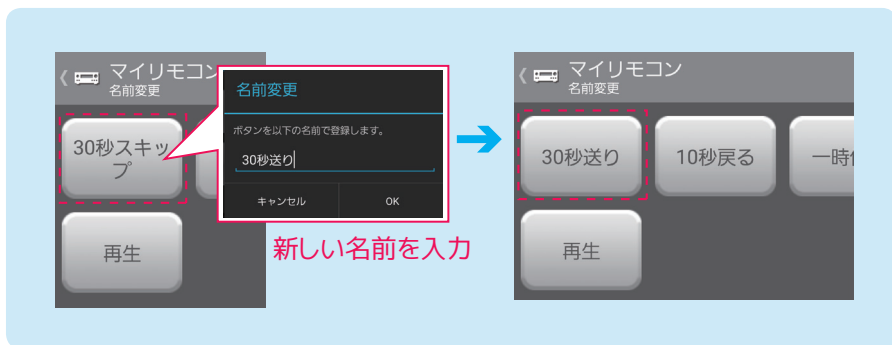


列数を変更するとボタンの大きさが変わります。

⇒ 52 ページ

ボタンの名前を変更する

ボタンに表示されている名前を変更します。



アプリを使いこなす

ボタンの編集

1 リモコン画面の [メニュー] から [名前変更] をタップ

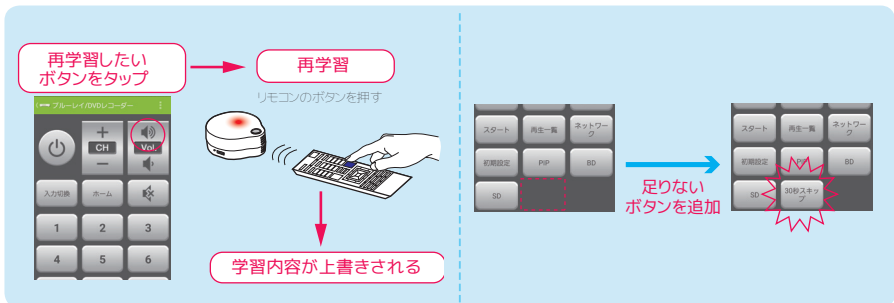


2 選択したボタンに新しい名前を入力する



ボタンの再学習・追加

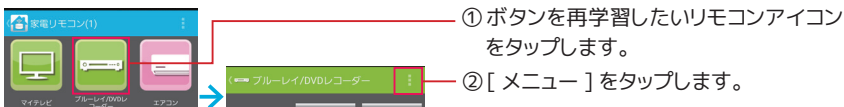
ボタンの再学習からは、登録済みのボタンを学習しなおしたり、足りないボタンを追加したりできます。



アプリを使いこなす

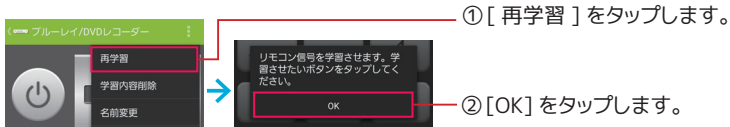
ボタンの編集

1 リモコン画面の [メニュー] をタップ



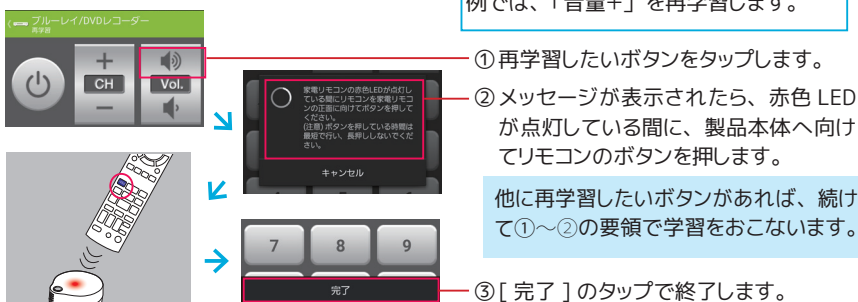
- ① ボタンを再学習したいリモコンアイコンをタップします。
- ② [メニュー] をタップします。

2 [再学習] をタップ



- ① [再学習] をタップします。
- ② [OK] をタップします。

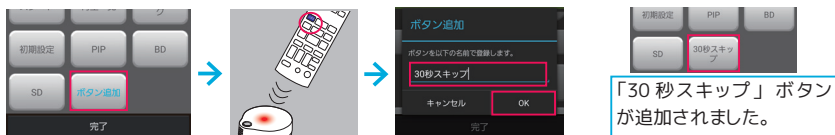
3 ボタンの再学習を行う



例では、「音量+」を再学習します。

- ① 再学習したいボタンをタップします。
 - ② メッセージが表示されたら、赤色 LED が点灯している間に、製品本体へ向けてリモコンのボタンを押します。
- 他に再学習したいボタンがあれば、続けて①～②の要領で学習をおこないます。

● ボタンの追加は [ボタン追加] をタップして学習をおこない、名前を登録します

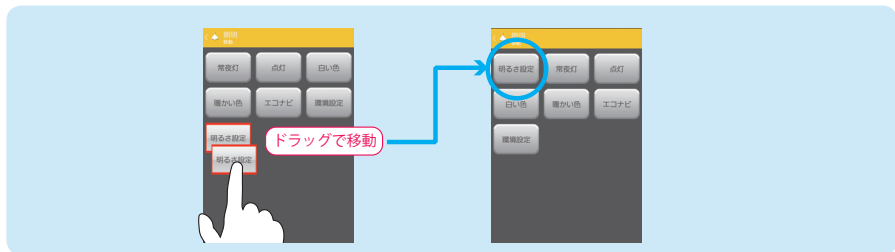


「30 秒スキップ」ボタンが追加されました。

ボタンを移動する

ボタンの並び替えができます。ボタンをドラッグして移動します。ボタンは自動的に、スペースを空けることなく整列します。

※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。



アプリを使いこなす

1 リモコン画面の [メニュー] をタップ



① 移動したいボタンが登録されている、リモコンアイコンをタップします。

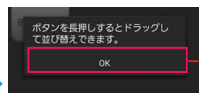
② [メニュー] をタップします。

ワンポイント 一部のボタンは対象外
標準ボタンは並び替え
できません。



ボタンの編集

2 [移動] をタップ

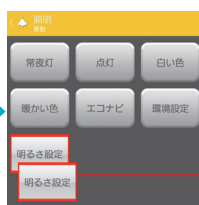
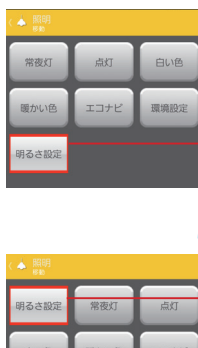


① [移動] をタップします。

② [OK] をタップします。

3 移動したいボタンをロングタップして並び替え

例では、「明るさ調整」を「常夜灯」の位置に移動します。



① 移動したいボタンをボタンの枠が赤色になるまでロングタップします。

② ボタンを置きたい位置までドラッグして指を離します。

③ 「明るさ調整」が移動されました。

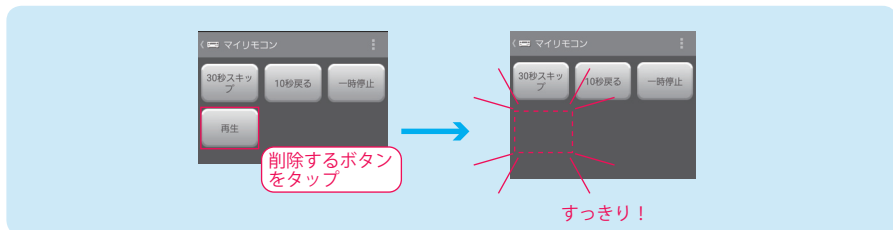
他に移動したいボタンがあれば、続けて①～③の要領で移動をおこないます。



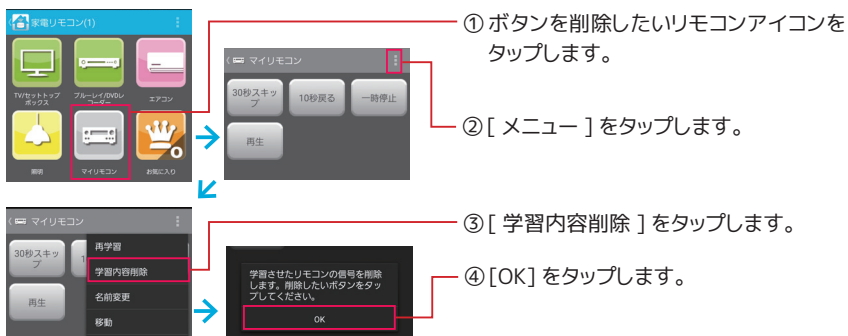
④ [完了] のタップで終了します。

学習内容を削除する

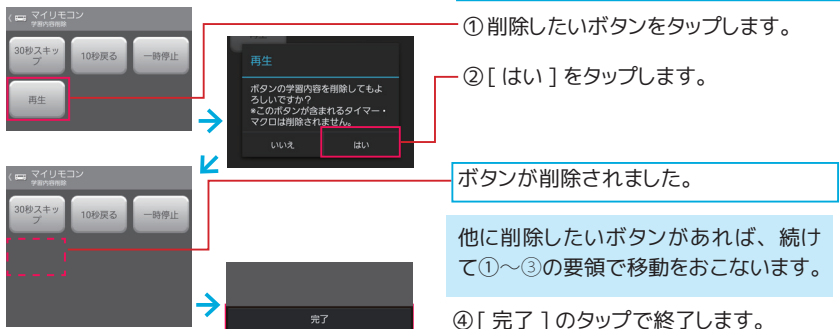
リモコン画面上から不要なボタンを取り除きます。



1 リモコン画面の [メニュー] から [学習内容削除] をタップ



2 選択したボタンが削除される



ワンポイント 削除できるボタン

標準ボタン(→30ページ)(電源ボタンや方向ボタンなど)も削除できます。

● Android の場合



ボタンは削除されます。再度ボタンを追加する場合は、再学習をおこなってください。

● iPhone/iPad の場合



ボタンは残り、学習前の表示に戻ります。(記号や文字の色が薄くなる)

ボタンの大きさを変える（ボタン列数変更）

列数を変更するとボタンの大きさが変わります。



ボタンの大きさが変わる!

アプリを使いこなす

ボタンの編集

1 リモコン画面の [メニュー] から [列数変更] をタップ

あらかじめ、列数変更したいリモコン画面を表示します。



2 列数を選択するとボタンの大きさが変わります



例は列数を「1」に変更した場合です。

ワンポイント 標準ボタンは対象外

テレビの操作ボタンなど、標準ボタン（→ 30 ページ）は列数変更が反映されません。



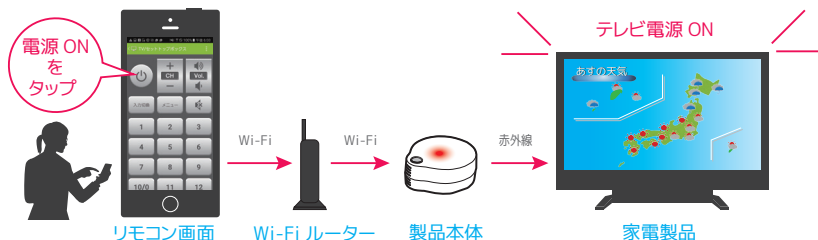
家電製品を操作する

基本の使い方以外に、タイマーやマクロなども使ってみましょう。

本製品ならではの設定や機能を使えば、次のような使い方ができます。

◆基本のリモコン操作

リモコン画面上のボタンを押すだけで家電製品を操作できます。リモコン信号は、スマホから Wi-Fi ルーターを経由して本製品から赤外線でご伝えられます。



基本のリモコン操作（上図を参照）

リモコン画面上で操作したいボタンをタップします。

タイマー予約をする（タイマーのない家電にも設定可能）

指定した時刻や曜日に家電製品を操作したいときにタイマー予約を使用します。

⇒ 54 ページ

ひとつのボタンで複数の操作をする（マクロ その 1）

一度タップするだけで、複数の家電製品の電源を入れたりすることができます。

⇒ 61 ページ

連続ボタン操作をひとつにまとめる（マクロ その 2）

例えば BS 放送 258ch への変更操作をひとつのボタンにまとめることができます。

⇒ 65 ページ

よく使うボタンを Android のホーム画面に追加する

ウィジェットを Android のホーム画面に追加します。⇒ 69 ページ

よく使うボタンを iOS の通知センターに追加する

ショートカットを iOS の通知センターに追加します。⇒ 71 ページ

アプリを使いこなす

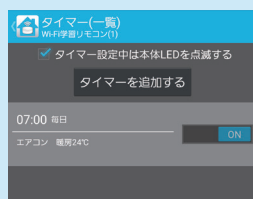
家電製品を操作する

指定した時刻や曜日に家電製品を操作

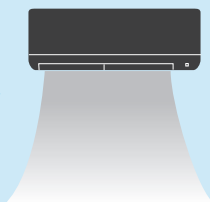
タイマー予約をする（タイマーのない家電にも設定可能）

アプリからタイマー情報を製品本体にセットします。指定時刻になると製品本体からリモコン信号を送信。タイマー機能のない家電製品でもタイマーで動作させることができます。

ワンポイント タイマーの対象外リモコン
マクロ・オリジナルリモコンは対象外です。



毎朝 7:00
エアコン ON



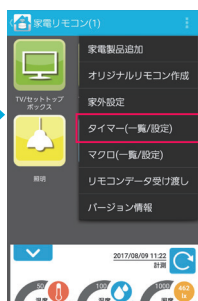
アプリを使いこなす

家電製品を操作する

1 メイン画面の [メニュー] から [タイマー（一覧 / 設定）] をタップ

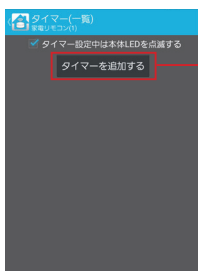


① [メニュー] をタップします。



② [タイマー（一覧 / 設定）] をタップします。

2 [+] をタップ

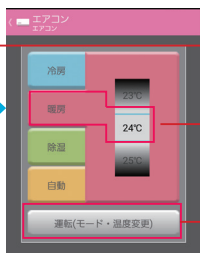


① [タイマーを追加する] をタップします。



② タイマー（設定）の [追加] をタップします。

3 タイマー予約したい家電製品の動作を設定する



例では、エアコンの運転（暖房 24℃）を設定しています。

- ① [エアコン] をタップします。
- ② 暖房温度を確認してから [運転 (モード・温度変更)] をタップします。

4 時刻を指定する



例では、毎朝 7:00 のタイマーにします。

- ① [繰り返し] をタップします。
- ② [毎日] を選択してから時刻を 7:00 と設定します。
- ③ [次へ] をタップします。

ワンポイント 時刻の指定方法

日時を指定する「1回のみ」と、曜日・時刻を指定する「繰り返し」に対応しています。

こんなときは 複数台を同時タイマーにしたい

同時刻に他の家電製品も動作させたい場合は画面右上の [+ (追加)] をタップしてください。

5 [完了] をタップ



- ① タイマーが登録されました。

ワンポイント タイマー予約表示

※ REX-WFIREX2 のみ
タイマー予約中の LED 点滅表示が不要の場合はチェックを外してください。

こんなときは タイマーを追加登録したい

別時刻に他の家電製品を動作させたい場合は [タイマーを追加する] をタップしてください。

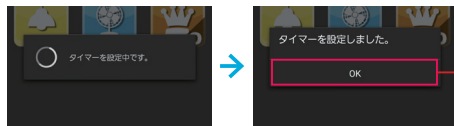
- ② [完了] をタップします。

タイマー情報のセットが開始されます。

6 LEDの点滅が消えるとタイマー設定完了



タイマー情報のセット中は、アプリ上に設定中のメッセージが表示され、製品本体のLEDが青に点滅します。



① 設定中のメッセージと製品本体のLEDの点滅が消えるとタイマー設定完了です。

② [OK] をタップします。

●設定できるタイマーは 28 件まで

1 回の動作につき 1 件と数えます。例えば、毎日 7 : 00 にエアコンとテレビの電源を ON にするなら 7 × 2 で 14 件となります。

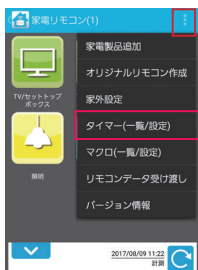
<ご注意>

タイマー予約中は本体と Wi-Fi ルーターの電源を切らずにご使用ください。タイマーが実行されません。

タイマーのオフ / オン

タイマーを使わないときはオフ、使うときはオンに切り替えできます。

1 タイマー（一覧 / 設定）でタイマーをオフ（オン）にする



例では、照明をオフにするタイマーを設定します。

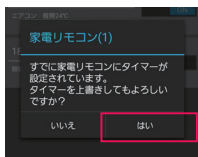
① [メニュー]—[タイマー(一覧/設定)] をタップします。

② ON/OFF ボタンをタップして、使わないタイマーを [OFF] にします。

③ [完了] をタップします。

アプリを使いこなす

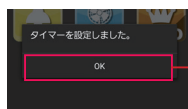
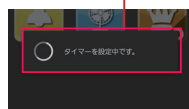
2 製品本体のタイマー情報を上書きして完了



① [はい] をタップしタイマーを上書きします。



② 設定中のメッセージと製品本体の LED の点滅が消えるとタイマー設定完了です。



③ [OK] をタップします。

家電製品を操作する

●タイマー情報は上書きされます（複数のスマホから設定するときにはご注意ください）

タイマー情報は製品本体にセットされますが、別のスマホから新たなタイマー設定をおこなうと前のタイマー情報は消去されますのでご注意ください。Aさんがタイマーを設定したあとにBさんがタイマーを設定した場合、Aさんのタイマー情報は消去されBさんのタイマー情報だけが製品本体に残ります。

タイマーを削除する

タイマーを削除する方法は 2 通りあります。

Android の場合

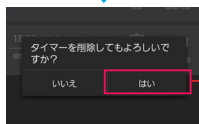
タイマーを削除する



例では、エアコンのタイマーを削除します。

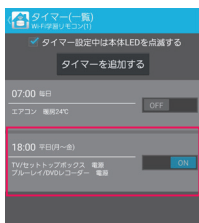
① タイマーをロングタップします。

② [削除] をタップします。



③ [はい] をタップします。

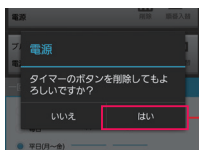
タイマーから 1 つの操作を削除する



例では、タイマー設定の中のブルーレイ/DVDレコーダーの操作だけを削除します。

① タイマーをタップします。

② ブルーレイ / DVDレコーダーの [削除] をタップします。



③ [はい] をタップします。

1 つの操作が削除されました。

④ [次へ] をタップします。

[完了] をタップ後 [はい] を選択すると、タイマー情報を上書きして完了します。

[<目次に戻る>](#)

iPhone/iPad の場合

タイマーを削除する

1 削除したいタイマーを選択する



例では、エアコンのタイマーを削除します。

① [削除・並び替え] をタップします。

② エアコンの [-] をタップします。

③ [削除] をタップします。

これで削除対象が決まりました。
まだ、削除は完了していません。

2 削除を完了する



① [完了] をタップします。

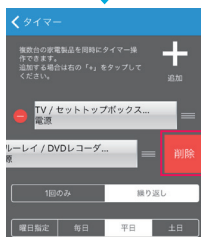
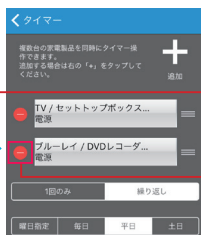
② 次の画面でもう一度 [完了] をタップします。

ワンポイント [戻る] で削除キャンセル

画面左上の [戻る] をタップすると、削除を完了せずにメイン画面に戻ります。

タイマーから1つの操作を削除する

1 タイマーから削除したい操作を選択する



例では、タイマー設定の中のブルーレイ / DVDレコーダーの操作だけを削除します。

① 編集するタイマーをタップします。

② ブルーレイ / DVDレコーダーの [-] をタップします。

③ [削除] をタップします。

これで削除対象が決まりました。まだ、削除は完了していません。

アプリを使いこなす

家電製品を操作する

2 削除を完了する



① [次へ] をタップします。

② [完了] をタップします。

ワンポイント [戻る] で削除キャンセル

画面左上の [戻る] をタップすると、削除を完了せずにメイン画面に戻ります。

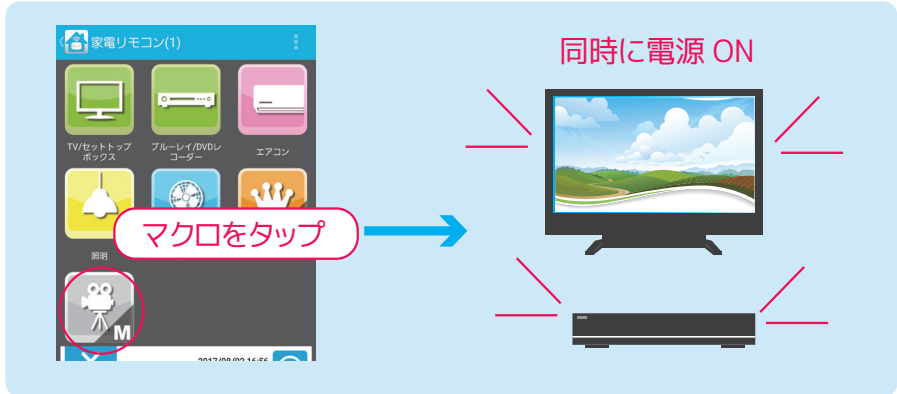
ボタンひとつで一連の操作が完了

ひとつのボタンで複数の操作をする（マクロその1）

一度タップするだけで、複数の家電製品の電源を入れる等の操作ができます。

ワンポイント マクロの対象外リモコン

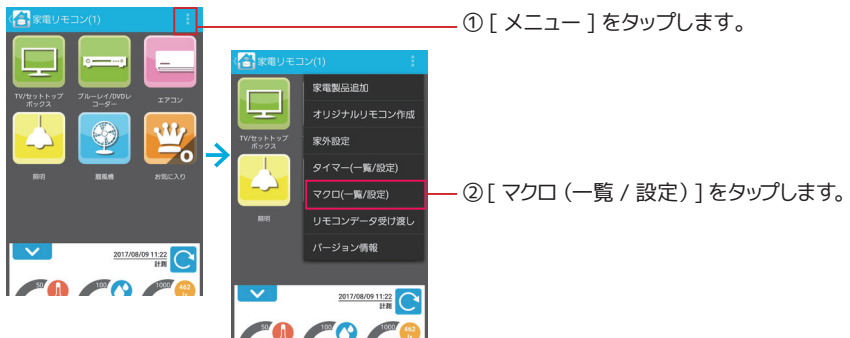
オリジナルリモコンは対象外です。



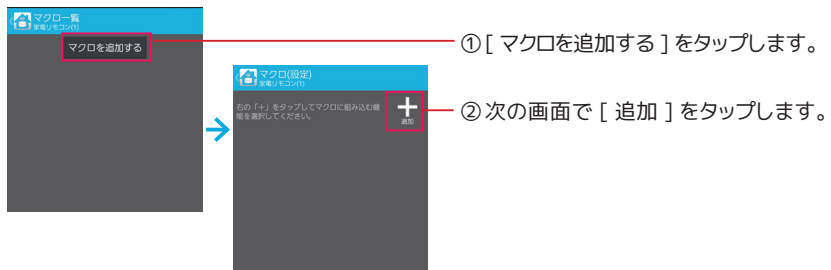
アプリを使いこなす

家電製品を操作する

1 メイン画面から [マクロ（一覧 / 設定）] をタップ



2 マクロを追加する



3 マクロに操作を登録する

例では、2つの操作を設定します。
 ・テレビの [電源] を押す
 ・レコーダーの [電源] を押す



① [TV/ セットトップボックス] をタップします。

② [電源] をタップします。



③ ひとつ目の操作 (例はテレビの [電源] を押す) が登録されました。



[追加] をタップして、残りの操作を①～③の要領で登録します。

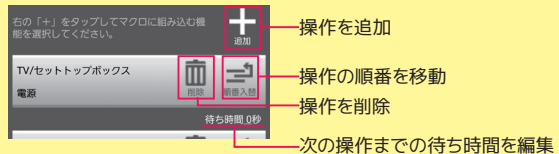
アプリを使いこなす

家電製品を操作する

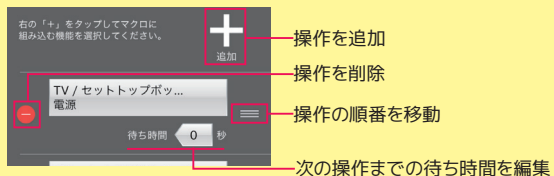
ワンポイント マクロの編集アイコン

マクロ設定画面には、次のような編集機能があります。

● Android の場合



● iPhone/iPad の場合



4 アイコンと名前をつける

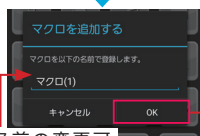
Android の場合



① [完了] をタップします。



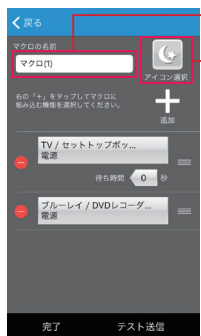
② アイコンをタップします。



③ マクロの名前を入力して [OK] をタップします。

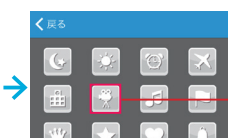
名前の変更可

iPhone/iPad の場合



① マクロの名前を入力します。(名前の変更可)

② [アイコン選択] をタップします。



③ アイコンをタップします。



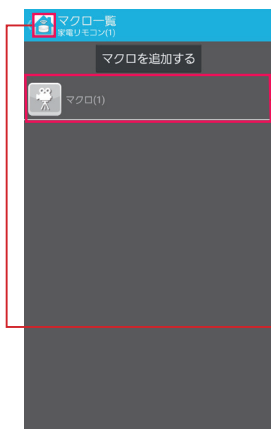
④ [完了] をタップします。

アプリを使いこなす

家電製品を操作する

5 マクロ設定完了

※画面は Android の場合です。iPhone/iPad の場合と若干異なります。



① マクロが登録されました。

② [< (戻る)] をタップします。



● Android の場合



● iPhone/iPad の場合



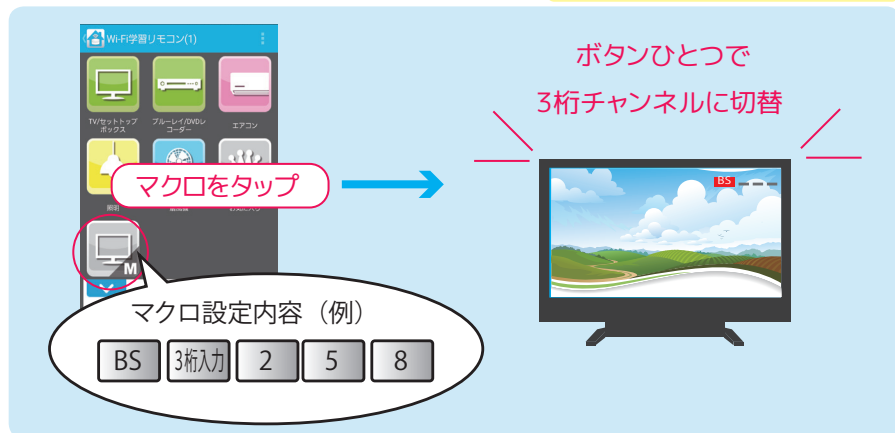
メイン画面にアイコンが登録されます。
マクロアイコンには「M」がつきます。

ボタンひとつでテレビの3桁入力を完了

連続ボタン操作をひとつにまとめる（マクロその2）

例えば BS 放送 258ch への変更操作をひとつのボタンにまとめることができます。

ワンポイント マクロの対象外リモコン
オリジナルリモコンは対象外です。



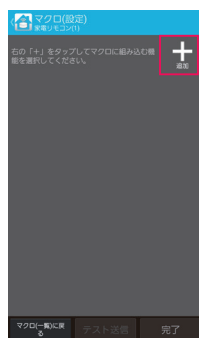
アプリを使いこなす

家電製品を操作する

1 マクロに操作を登録する

はじめの画面への行き方

[メニュー]—[マクロ(一覧/設定)]—[マクロを追加する]をタップしてマクロ設定画面を表示しておきます。



例えば、BS258ch に切り替える 5 つの操作を登録します。

- ・ [BS] を押す
- ・ [3桁入力] を押す
- ・ [2] を押す
- ・ [5] を押す
- ・ [8] を押す



① [追加] をタップします。

② [TV/セットトップボックス] をタップします。



③ [BS] をタップします。

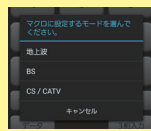


<目次に戻る>



④ ひとつ目の操作（例は [BS] ボタンを押す）が登録されました。

ワンポイント チャンネル番号のモード



チャンネル番号のモード選択は、登録するものが BS であれば [BS] を選択します。

[追加] をタップして、残りの操作を①～④の要領で登録します。

2 マクロに待ち時間を登録する



次に、操作に対する待ち時間を設定します。

- ・ 2 秒待ってから [3桁入力] を押す
- ・ 1 秒待ってから [2] を押す
- ・ 1 秒待ってから [5] を押す

① 設定したい操作の待ち時間をタップします。

② 待ち時間（例は 2 秒）を選択して [OK] をタップします。

※ iPhone/iPad の場合は秒数を手入力します。

ワンポイント 待ち時間は 200 秒まで

次の操作までの待ち時間は、1 秒刻みで 200 秒まで対応。

続けて①～②の要領で、残りの待ち時間も設定します。

ワンポイント テスト送信

ボタンを押すタイミングが適切かどうかテスト送信で確認できます。



③ すべての作業が終われば [完了] をタップします。

3 アイコンと名前をつけ、[OK] をタップするとマクロ設定完了

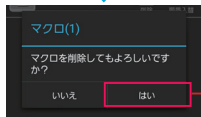
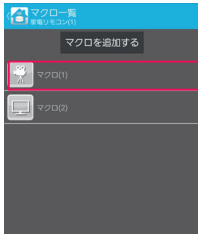
74 ページの手順 4 以降を参照し、設定を完了します。

マクロを削除する

「マクロを削除する方法」と「マクロから1つの操作を削除する方法」を説明します。

Android の場合

マクロを削除する



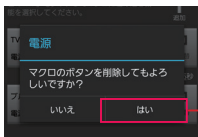
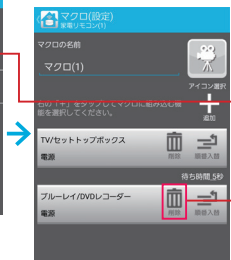
例では、マクロ（1）を削除します。

- ① マクロをロングタップし、削除モードに切り替えます。
- ② 削除したいマクロの [削除] をタップします。
- ③ [はい] をタップします。

ワンポイント メイン画面でも削除できる

Android では、メイン画面で削除したいマクロアイコンをロングタップすると削除できます。⇒44 ページ

マクロから1つの操作を削除する



例では、マクロ（1）設定の中のブルーレイ / DVD レコーダーの操作だけを削除します。

- ① 削除したいマクロをタップします。
- ② ブルーレイ / DVD レコーダーの [削除] をタップします。
- ③ [はい] をタップします。

1つの操作が削除されました。

- ④ [完了] をタップします。

[<目次に戻る>](#)

iPhone/iPad の場合

マクロを削除する



例では、マクロ (1) を削除します。

① [削除・並び替え] をタップします。

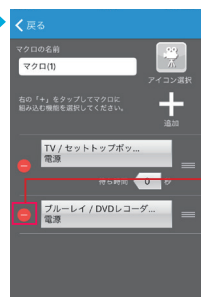
② マクロ(1)の [-] をタップします。

③ [削除] をタップします。

④ [完了] をタップします。

アプリを使いこなす

マクロから 1 つの操作を削除する



例では、マクロの中のブルーレイ / DVDレコーダーの操作を削除します。

① [削除・並び替え] をタップします。

② ブルーレイ / DVDレコーダーの [-] をタップします。

③ [削除] をタップします。

④ [完了] をタップします。

家電製品を操作する

ウィジェットですぐに家電製品を操作

よく使うボタンを Android のホーム画面に追加する

テレビの電源ボタンなど、よく使うボタンを Android のホーム画面にウィジェットとして追加します。ウィジェットを使用すれば、アプリの一覧画面からアプリを探す手間なく、すばやく目的のリモコン操作をできるようになります。

※ 以下は Galaxy S6 のウィジェット画面です。他の機種では操作が若干異なります。

ワンポイント 設定の対象外について

マクローオリジナルリモコンはウィジェットの設定の対象外です。



アプリを使いこなす

家電製品を操作する

1 ホーム画面から [ウィジェット] をタップ



2 [スマート家電コントローラ]をロングタップ



① [スマート家電コントローラ]のアイコンをロングタップします。

こんなときは アイコンが見つからない
画面をスワイプしてアイコンを探します。

② ウィジェットを置きたい位置にドラッグして指を離します。

アプリを使いこなす

家電製品を操作する

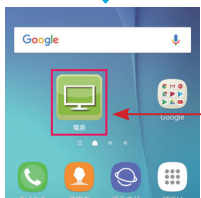
3 ウィジェットに設定したいリモコンのボタンを選択する



前の手順でウィジェットから指を離すと家電製品の選択画面が表示されます。

① ウィジェットに設定したい家電製品（例はテレビ）をタップします。

② リモコンのボタン（例はテレビの電源ボタン）をタップします。



③ ウィジェットがホーム画面に追加されました。

● ウィジェットを削除したいとき



ウィジェットをロングタップすると、ゴミ箱のアイコンが表示されます。アイコンをドラッグしてゴミ箱に入れてください。ウィジェットが削除されます。

※アプリでテレビのリモコンを削除しても、ウィジェットは削除されません、ウィジェットをゴミ箱に入れて削除をおこなってください。

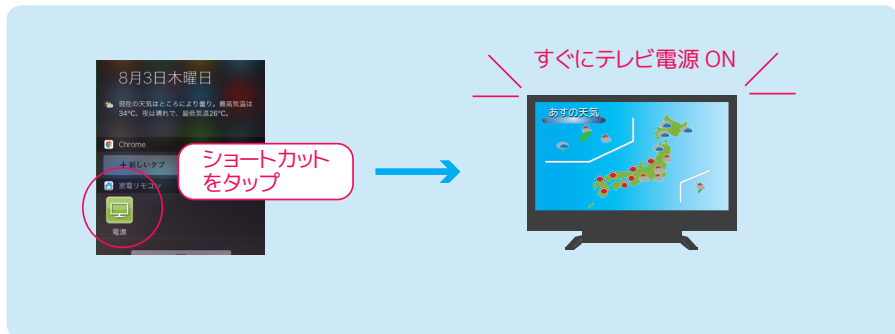
ショートカットからすぐに家電製品を操作

よく使うボタンを iOS の通知センターに追加する

テレビの電源ボタンなど、よく使うボタンを iOS の通知センターにショートカットとして追加します。ショートカットを使用すれば、アプリの一覧画面からアプリを探す手間なく、すばやく目的の操作ができるようになります。

ワンポイント 設定の対象外について

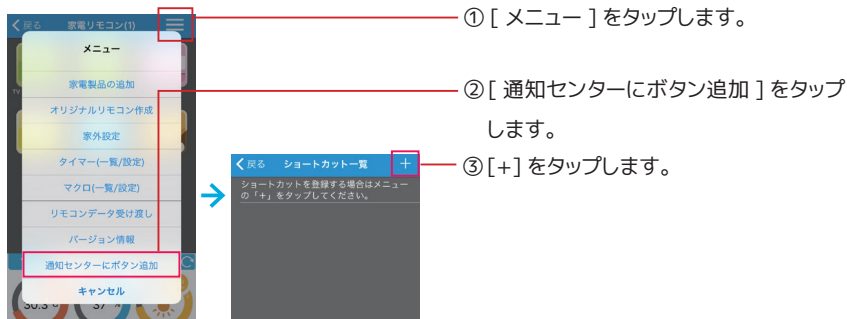
マクロ・オリジナルリモコンは対象外です。



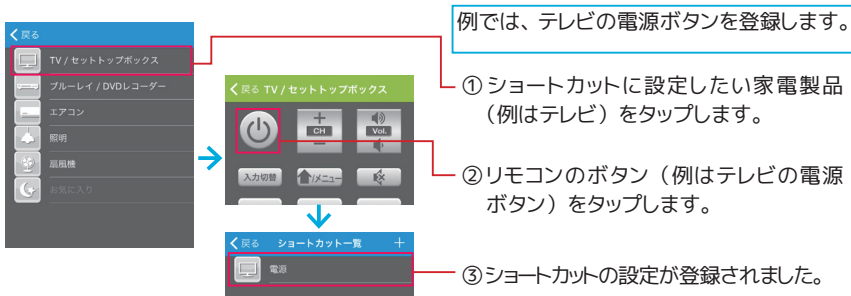
アプリを使いこなす

家電製品を操作する

1 メイン画面の [メニュー] から [通知センターにボタン追加] をタップ



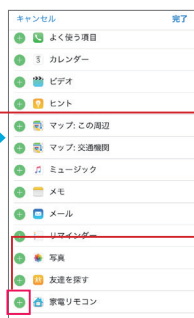
2 ショートカットに設定したいリモコンを登録



<目次に戻る>

3 iOS で編集すると通知センターにショートカットが追加される

※以下は iOS10 のウィジェット画面です。他のバージョンでは操作が若干異なります。



画面を上から下にフリックしたあと左から右にフリックし、iOS の通知センターを表示しておきます。

① 通知センター下部の [編集] をタップします。

② 家電リモコンの [+] をタップします。



③ 家電リモコンの順番を上へ移動してから [完了] をタップします。

④ ショートカットが通知センターに追加されました。

※表示順の変更は、編集画面で右にあるアイコンをドラッグしておこなえます。



● ショートカットを使わないとき



(図 1)



(図 2)

● ショートカットの設定の削除

1. [メニュー] から [通知センターにボタン追加] をタップすると、ショートカット一覧画面が表示されます。
2. [削除・並び替え] をタップします。(図 1)
3. 画面が削除モードに切り替わります。削除したいショートカットの [-] をタップし、つづけて [削除] をタップします。
4. 画面下部の [完了] をタップします。

※ショートカットの設定をすべて削除しても、通知センターにカテゴリー表示は残ります。必要に応じて「通知センターの非表示」をおこなってください。

● 通知センターの非表示

1. 画面を上から下にフリックしたあと左から右にフリックし、iOS の通知センターを表示します。
2. 通知センター下部の [編集] をタップします。
3. WiFi リモコンの [-] をタップし、つづけて [削除] をタップします。(図 2)
4. 画面右上の [完了] をタップします。

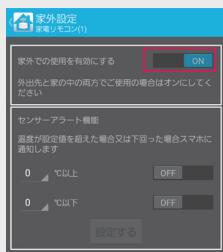
いえそと 家外での使用

家の外からでも家電製品を操作できます。

利用無料

メイン画面から操作したい家電製品のリモコンをタップし、家電製品の操作を始めることができます。また、製品本体のセンサーが取得した温度・湿度・照度が表示されるので、室内の環境を知ることができます。

いえそと 家外での使用を有効にする



家の外から家電製品を操作するには「家外での使用を有効にする」をONに設定します。

⇒ 75 ページ



家電リモコン一覧

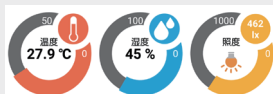
外出先から家電製品を操作する



例えば、エアコンを遠隔操作すれば、帰宅までに室内を適温にしておくことができます。

⇒ 76 ページ

外出先から温度・湿度・照度を確認する



例えば、エアコンの運転が必要な室温かどうかを知ることができます。

⇒ 77 ページ

警告温度を超えたら通知する（センサーアラート機能）



アプリが警告温度をお知らせする機能です。

⇒ 78 ページ

※家外での使用は無料でご利用いただけますが、このサービスで使用するクラウドとの通信費はお客様の自己負担となります。なお、このサービスは弊社ホームページにてお客様に事前の通知をしたうえで中止する場合があります。

※クラウドサーバーや通信機器・通信回線の不具合により、操作が正常におこなえない場合に発生した問題については、弊社では保証いたしません。

外出先では利用できない機能があります

外出先ではクラウド経由で通信するため、以下の機能は使用できません。

- タイマーは設定できません。
- センサーアラート機能は設定できません。外出先で通知は受け取れません。

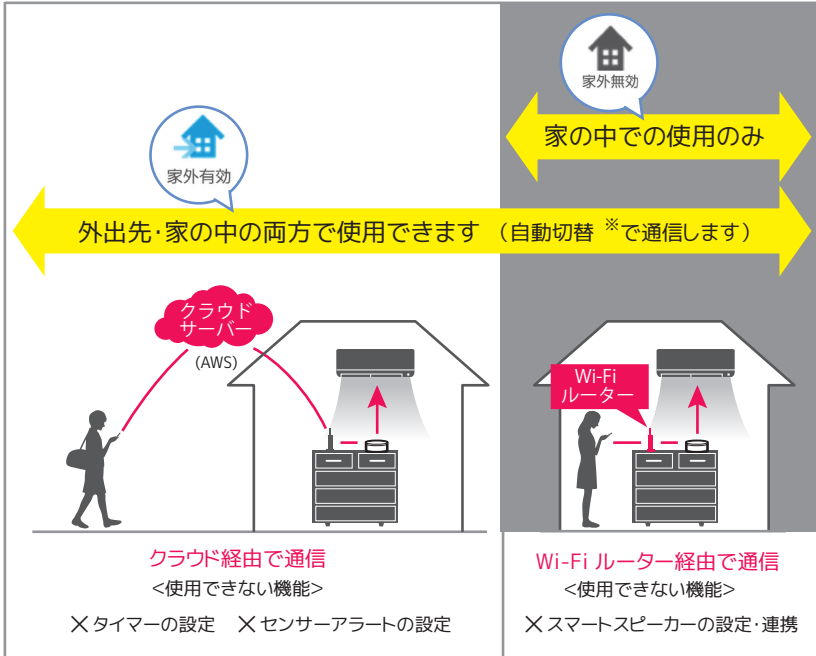
<目次に戻る>

アプリを使いこなす

家外での使用

家外での使用が「有効」と「無効」の違い

図のように、使用できる範囲が異なります。「家外有効」は、外出先と家の中の両方で使用できる設定です。家外での使用が有効であっても、家の中で使用している（Wi-Fi ルーターに接続している）場合はクラウドサーバーを経由せず、リモコン登録やタイマー設定などアプリのすべての機能を使用することができます。家の中だけで操作をする場合は、常に「無効」の設定でご使用ください。



※ご使用のスマホがご自宅の Wi-Fi ルーターに接続されたときに、クラウド経由から Wi-Fi ルーター経由に自動的に切り替わります。家の中にいても、スマホの Wi-Fi 設定がオフになっていると Wi-Fi ルーター経由で通信できないため、クラウド経由での通信となります。

●スマートスピーカーと連携する場合も、家外を有効にする必要があります

スマートスピーカーから入力された音声は、クラウド上で認証と処理がおこなわれ本製品に送られます。そのため、家外を有効にする必要があります。

⇒ 87 ページ

外出先と家の中の両方で使用するなら

いえそと

家外での使用を有効にする

外出先と家の中の両方で使用する場合は、^{いえそと}家外での使用を常に有効にしてお使いください。

※家外での使用が有効であっても、家の中で使用している（Wi-Fi ルーターに接続している）場合はクラウドサーバを経由せず、リモコン登録などすべての機能を使用することができます。（家外の有効 / 無効を切り替える必要はありません）

1 スマホがご自宅の Wi-Fi ルーターに接続されていることを確認する

○ Android の場合



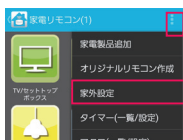
○ iOS の場合



① スマホの [設定] - [Wi-Fi] をタップして Wi-Fi 設定を表示します。

② ご自宅の Wi-Fi ルーターの SSID が選択されていることを確認します。

2 メイン画面の [メニュー] から [家外設定] をタップ



① [メニュー] をタップします。

② [家外設定] をタップします。

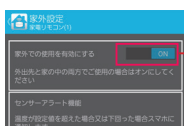
3 「家外での使用を有効にする」を [ON] にする



① スイッチをタップし [ON] にします。

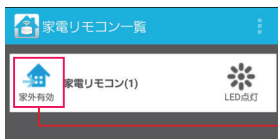
② [はい] をタップします。

③ 少し待ると [ON] に切り替わります。[OFF] に戻りたいときは、もう 1 度スイッチをタップしてください。



こんなときは「接続に失敗しました」と表示されたメッセージの指示通りに確認してから再度 ON/OFF 切り替えをお試しください。解消されない場合は、ご自宅の Wi-Fi ルーターに接続できているかご確認ください。

4 家外有効の表示を確認する



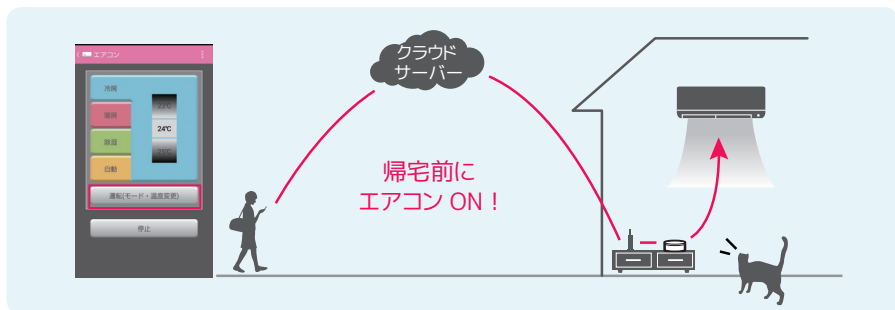
家電リモコン一覧の画面に、「家外有効」と表示されます。

アプリを使いこなす

家外での使用

外出先から家電製品を操作する

外出先から家電製品を操作すれば、「帰宅までに室内を涼しくしたい」「防犯のために部屋の照明を灯したい」「きれいな空気の部屋に帰りたい」といった生活ができるようになります。



アプリを使いこなす

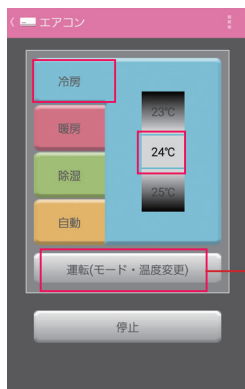
家外での使用

1 ご自宅で [家外での使用を有効にする] を ON に設定する



家外設定の手順
⇒ 75 ページ

2 操作したいリモコンのボタンをタップ



例えば、エアコンの運転（冷房 24℃）を開始します。

エアコンのリモコン画面を開き、冷房 24℃にあわせてから [運転（モード・温度変更）] をタップします。

こんなときは エラーメッセージがでる

「現在家外からの家電操作・センサー値取得が利用できません」と表示されたときは、もう一度リモコンのボタンをタップしてください。

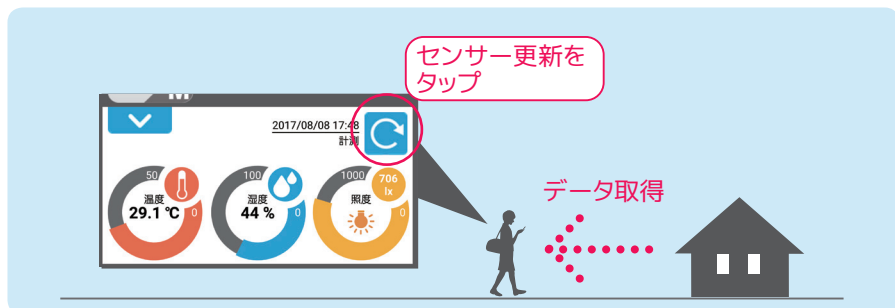
※エアコンや照明が動作しているかどうかは、センサーの温度や照度表示でご確認ください。

●クラウド経由で通信時、次の機能は利用できません

タイマーを設定することはできません。

外出先から温度・湿度・照度を確認する

外出先で室内の温度・湿度・照度を知ることで、「室内ペットの体調が気になるのでエアコンをオンにする」「湿度が高くなってきたので除湿機をオンにする」「照明の消し忘れを確認してオフにする」といった判断ができるようになります。



1 ご自宅で [家外での使用を有効にする] を ON に設定する



家外設定の手順
⇒ 75 ページ

2 知りたいときに [センサー更新] をタップ



[センサー更新] をタップすると、現在の室内の温度・湿度・照度データに更新されます。

ワンポイント センサーの稼動について

製品本体の電源オンから30分間は、センサーの準備ができていないため、しばらく待ってから [センサー更新] をタップしてください。

ワンポイント センサーアラート機能

指定した温度を超えたら通知するように設定できます。

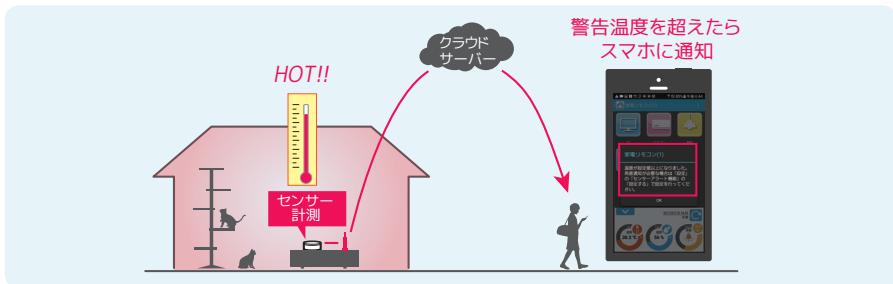
⇒ 78 ページ

スマホにメッセージでお知らせ

警告温度を超えたら通知する（センサーアラート機能）

センサーアラート機能をONにすると、設定した警告温度を上（下）回ったときにスマホに通知がきます。警告温度は0から50℃の1℃刻みで指定できます。

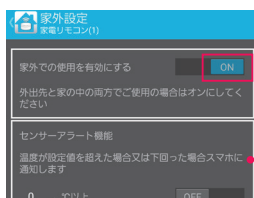
センサーアラート機能は、家外での使用を有効にしてお使いください。



アプリを使いこなす

家外での使用

1 ご自宅で [家外での使用を有効にする] を ON に設定する

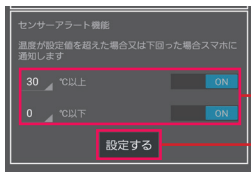


家外設定の手順

⇒ 75 ページ

「家外での使用を有効にする」のスイッチを [ON] にすると、センサーアラート機能の設定項目が表示されます。

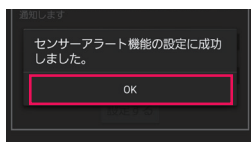
2 警告温度を設定する



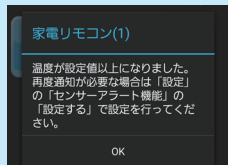
① [°C (範囲0～50°C)] を選択し、スイッチを [ON] にします。

② [設定する] をタップします。

3 [OK] をタップして設定完了



警告温度を超えると表示される警告メッセージ



●クラウド経由で通信時、センサーアラートの設定はできません

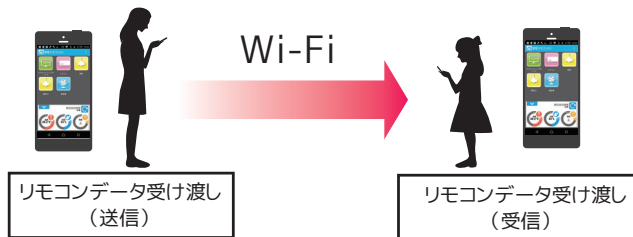
外出先でセンサーアラートの設定（警告温度や機能のON/OFF）はできません。スマホは本製品を接続しているWi-Fiルーターに接続して設定してください。

リモコンデータを他のスマホにコピー

リモコンデータを共有すればリモコン登録の手間が省けます。

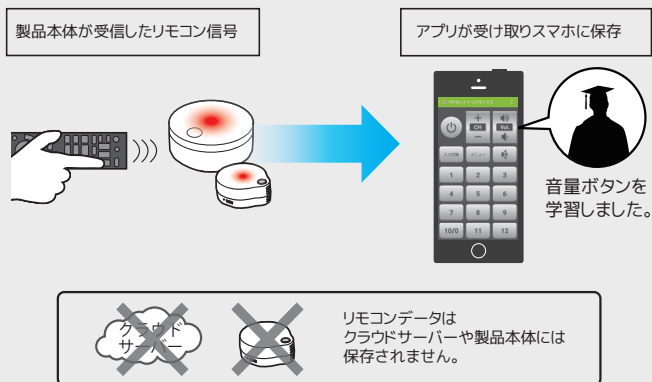
お客様が登録したリモコンのデータは、スマホに保存されています。機種移行や家族のスマホに同じリモコンを登録したい場合は、アプリのリモコンデータ受け渡し機能を利用してスマホ間*でデータの受け渡しをおこなってください。iPhone から Android など、異なる端末間のデータ受け渡しも可能です。

●リモコンデータ共有の基本イメージ



学習内容はスマホに保存されています

ボタンを学習すると、アプリが製品本体からリモコン信号を受け取り、学習内容をリモコンデータとしてスマホに保存します。製品本体やクラウドサーバーには保存されません。



リモコンデータの受け渡しで転送できない機能があります

次の機能については、それぞれのスマホで設定をおこなってください。

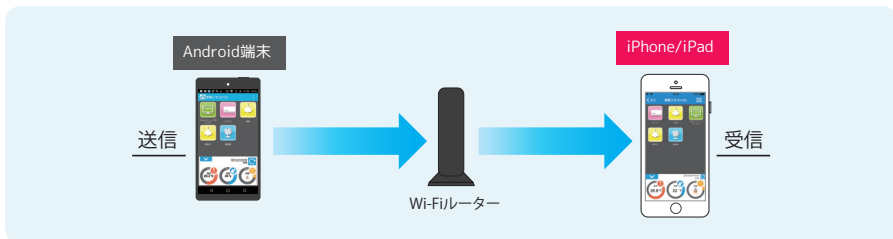
- オリジナルリモコン
- マクロ
- タイマー

<目次に戻る>

アプリ間でリモコンデータの受け渡しをおこなう

リモコンデータの送受信をおこなう端末は、本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続しておきます。

以下では、リモコンデータ送信側に Android 端末、受信側に iPhone を使用した場合を例として説明します。



リモコンデータ受信の準備 (iPhone/iPad)

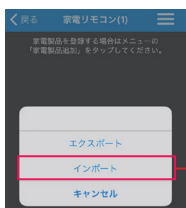
1 [メニュー] から [リモコンデータ受け渡し] をタップ



① [メニュー] をタップします。

② [リモコンデータ受け渡し] をタップします。

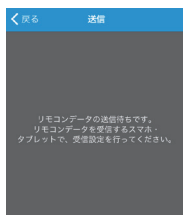
2 受信待ちの状態にする



① [インポート] をタップします。



② [スマホ間で受け渡し] をタップします。



③ 受信待ちの状態になりました。

<目次に戻る>

リモコンデータ送信の準備 (Android 端末)

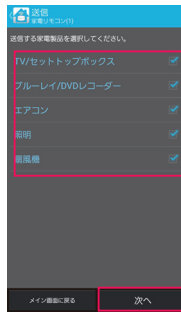
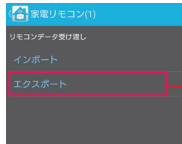
3 [メニュー] から [リモコンデータ受け渡し] をタップ



① [メニュー] をタップします。

② [リモコンデータ受け渡し] をタップします。

4 リモコンデータを送信する



① [エクスポート] をタップします。

② 送信したいリモコンを選択します。

③ [次へ] をタップします。

アプリを使いこなす

● iPhone のリモコンデータを送信する場合

すべてのリモコンを一括で転送するか、ひとつずつ転送するかを選択します。

1. [リモコンデータ受け渡し]-[エクスポート] をタップします。
2. すべてのデータを送信するときは [一括]、ひとつずつ選択して送信するときは [個別選択] をタップします。(図1)
3. [個別選択] をタップした場合は、リモコンの一覧が表示されます。(図2)



(図1)

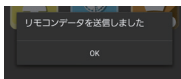


(図2)

5 送信完了

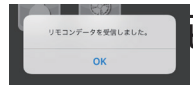
○送信側

[リモコンデータを送信しました] のメッセージが表示されます。



○受信側

[リモコンデータを受信しました] のメッセージが表示されます。



● 次の機能は受け渡しできません

オリジナルリモコン、マクロ、タイマーのデータは受け渡しできません。

相手先にリモコンデータをメール送信

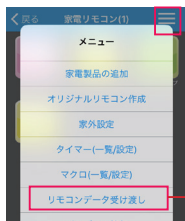
エクスポートファイルを作成する

エクスポートファイルを作成してメールを送信します。



iPhone/iPad の場合

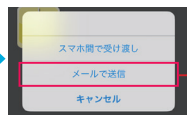
1 [メニュー]-[リモコンデータ受け渡し]から[メール送信]を選択



① [メニュー]をタップし、[リモコンデータ受け渡し]を選択します。

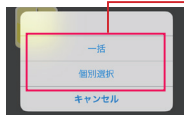


② [エクスポート]をタップします。



③ [メールで送信]をタップします。

2 エクスポートファイルをメールで送信する



① すべてのリモコンデータをエクスポートするときは一括、ひとつのリモコンデータをエクスポートするときは個別選択をタップします。



② メールアプリが起動し、エクスポートファイルが添付されていることを確認します。



③ 宛先を入力して送信します。

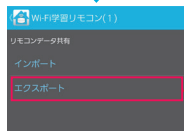
Android 端末の場合

1 [メニュー]-[リモコンデータ受け渡し] から [メール送信] を選択

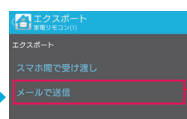


Android6 以降では、あらかじめ設定からメールアプリ (Gmail など) のストレージ読み書きを許可しておいてください。

① [メニュー] をタップし、[リモコンデータ受け渡し] を選択します。



② [エクスポート] をタップします。



③ [メールで送信] をタップします。

2 エクスポートファイルをメールで送信する



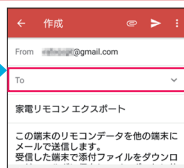
① ファイル名を入力します。

OK

② [OK] をタップします。



③ メールアプリを選択します。(例は Gmail)



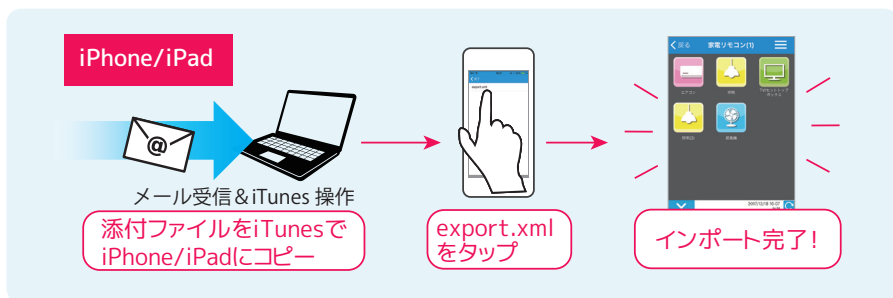
④ 宛先を入力して送信します。

● 次の機能はエクスポートできません

オリジナルリモコン、マクロ、タイマーはエクスポートできません。

iPhone/iPad にインポートする（パソコンが必要）

iTunes が使えるパソコンで iPhone/iPad にデータを取り込みます。



アプリを使いこなす

1 メールを受信し添付ファイルをダウンロードする



デスクトップなどに export.xml を保存します。

2 iTunes を起動して iPhone/iPad をパソコンに接続する



例は、iPhoneX を接続した状態です。

iPhone を接続すると、アイコンが表示されます。アイコンをクリックします。

3 export.xml を iPhone/iPad に転送する



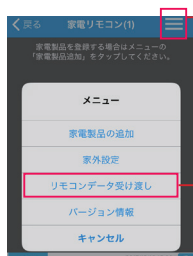
① [ファイル共有] をクリックします。

② [家電リモコン] をクリックします。

③ [ファイルを追加] をクリックして export.xml を選択します。

リモコンデータを他のスマホにコピー

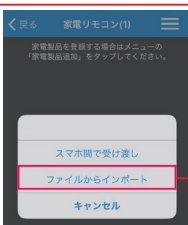
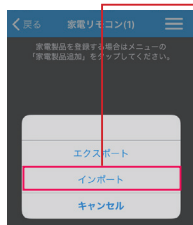
4 [リモコンデータ受け渡し] をタップ



① [メニュー] をタップします。

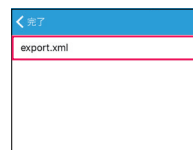
② [リモコンデータ受け渡し] をタップします。

5 インポートするファイルを選択する



① [インポート] をタップします。

② [ファイルからインポート] をタップします。



③ [export.xml] をタップします。

④ [OK] をタップします。

ワンポイント export.xml は削除される

export.xml はインポート後、iPhone/iPad から自動削除されます。

6 インポート完了



[完了] をタップします。



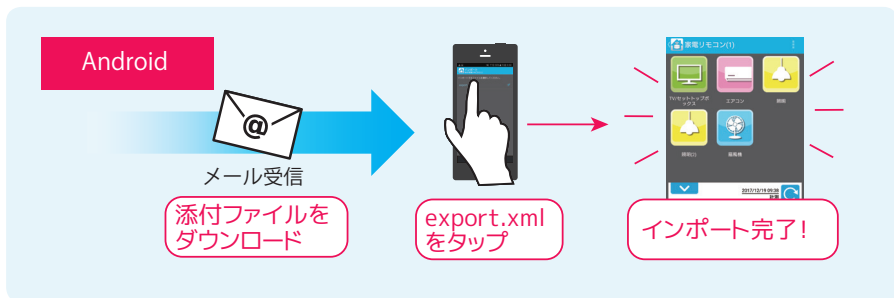
こんなときは

エクスポートしたリモコンの名前が既存リモコンと重複するときは

リモコン名は重複したまま、追加でインポートされます。

Android にインポートする

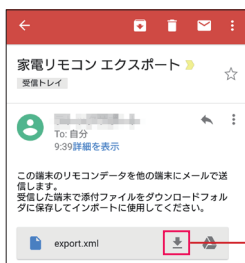
コピー先スマホでメールを受信し、エクスポートファイルを取り込みます。



アプリを使いこなす

リモコンデータを他のスマホにコピー

1 メールを受信し添付ファイルをダウンロードする



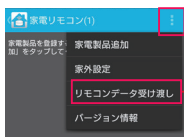
例は、Gmail で受信した場合です。

[ダウンロード] をタップし、受信したメールの添付ファイルをスマホに保存します。

ワンポイント 添付ファイルの保存先

添付ファイルは Download フォルダに保存してください。Gmail の場合、通常は Download フォルダに保存されます。

2 [リモコンデータ受け渡し] でインポート

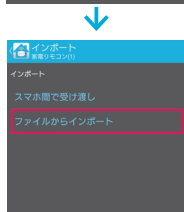


Android6 以降では、あらかじめ設定からメールアプリ (Gmail など) のストレージ読み書きを許可しておいてください。

① [メニュー] をタップし、[リモコンデータ受け渡し] を選択します。



② [インポート] をタップします。



③ [ファイルからインポート] をタップします。



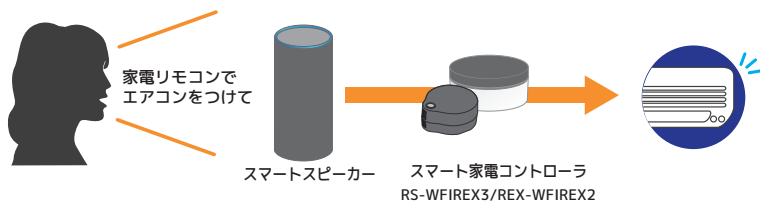
④ インポートされたリモコンが表示されます。

スマートスピーカーとの連携

スマートスピーカーと連携すると、音声で家電が操作できるようになります。

●スマートスピーカーの基本イメージ

対応スマートスピーカーを接続すると、「家電リモコンを使って〇〇して」と話しかけて家電のコントロールが可能に。リモコンやスマホを手取ることなく、ハンズフリーで家電（テレビ・エアコン・照明）の操作がおこなえます。たとえば、両手がふさがっている家事中にテレビの音量やチャンネルを変更したり、ベッドに入ったままエアコンや照明をオンオフすることが可能です。

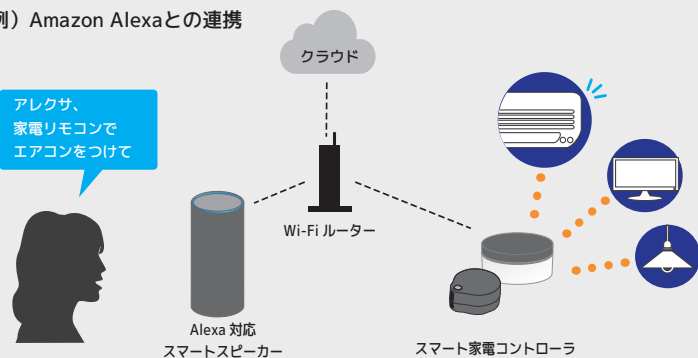


スマートスピーカーと連携する場合は家外を有効にしてください



スマートスピーカーから入力された音声は、クラウド上で認証と処理がおこなわれ本製品に送られます。そのため、家外を有効にする必要があります。

(例) Amazon Alexaとの連携



対応スマートスピーカー

(2017年12月現在)

- Alexa 対応スピーカー (Amazon Echo など)

※ひとつの Amazon アカウントに接続できる家電リモコンは1台です。

サポートする音声操作

アプリに登録済みのリモコンのうち、スマートスピーカーから以下の操作をすることができます。

機種	接続可能台数	操作範囲
テレビ	1台	電源のオンオフ (テレビをつけて、テレビの電源オフ、など) チャンネルの切り替え (1チャンネルに変えて、など) ボリュームの変更 (ボリュームを上げて、音量を4上げて、など) 消音設定 (音声を消して、ミュートにして、音声を戻して、など)
エアコン	1台	電源のオンオフ (エアコンをつけて、エアコンオフ、など) 温度設定の変更 (暖房を24度にして、など) 除湿などの変更 (28度で除湿して、除湿を強にして、など) ※温度の指定ができないエアコンは対応していません
照明	2台	電源のオンオフ (照明をつけて、照明消して、など) 照度の調整 (照明を明るくして、照明を暗くして、など)

Alexa スキルを登録する

Alexa 対応スピーカーで本製品を使用するためには、Alexa アプリで「スマート家電コントローラ」スキルの登録が必要です。



スマートスピーカーとの連携

音声で操作する

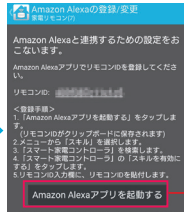
1 家電リモコンアプリでリモコン ID を取得します



① メニューから「Amazon Alexa の登録/ 変更」を選択します。

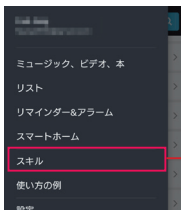


② 使用するリモコンを選びます。



③ リモコン ID が表示されます。[Alexa アプリを起動する] ボタンをタップすると、リモコン ID がクリップボードにコピーされます。

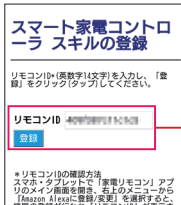
2 Alexa アプリでスキルを有効にします



① メニューから「スキル」を選び、「スマート家電コントローラ」を検索します。



② 「スマート家電コントローラ」の「スキルを有効にする」ボタンをタップします。



③ 表示される入力画面に 1. でコピーしたリモコン ID を貼り付け、[登録] をタップします。



④ 「正常にリンクされました」のメッセージが表示されたら、Alexa アプリ側の設定は完了です。

<目次に戻る>

家電を指定する

家電リモコンアプリで、スピーカーと連携する家電の選択と設定をおこないます。連携する家電のリモコンデータは、あらかじめ登録をおこなっておいください。

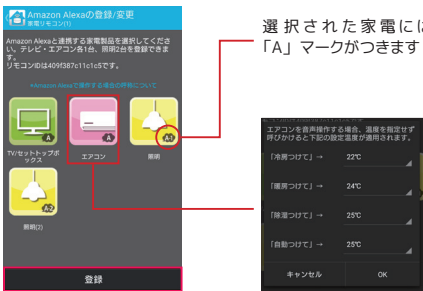


1 家電リモコンアプリでリモコンを選択します

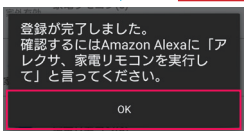


- ① メニューから「Amazon Alexaの登録 / 変更」を選択します。
- ② 使用するリモコンを選びます。

2 家電の選択と設定をおこないます



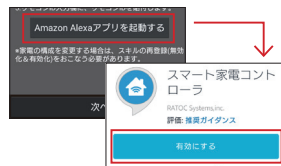
- ① 登録可能なリモコンが表示されます。Alexaに登録したい家電のアイコンをタップして選択します。
※登録できるリモコンの台数は、テレビ1台、エアコン1台、照明2台までです。
※エアコン選択時は、温度の設定画面を表示します。「暖房つけて」など、温度を略して呼びかけたときに適用します。



- ② 選択が終わったら [登録] をタップします。
- ③ 登録完了のメッセージが表示されます。[OK] をタップします。

● 連携する家電の構成を変更したい

上記と同様の手順で、連携する家電の追加 / 解除がおこなえます。
【複数台の端末で家電リモコンアプリを使用している場合】
最後に Alexa の登録 / 変更をおこなった端末の情報が反映されています。端末のリモコン情報が同一の場合は、リモコン ID の表示画面からスキルをいったん無効化した上で有効化することで、クラウド上に保存された連携済み家電の最新情報を取得できます。



音声で操作する（発話例）

「アレクサ、家電リモコンを実行して」と話しかけると、対話形式で操作をすすめます。

「アレクサ、家電リモコンを使ってエアコンをつけて」「アレクサ、家電リモコンでボリュームを上げて」など、1回の呼びかけと同時に操作内容を伝えることもできます。

① 1回の呼びかけで操作を完了する場合

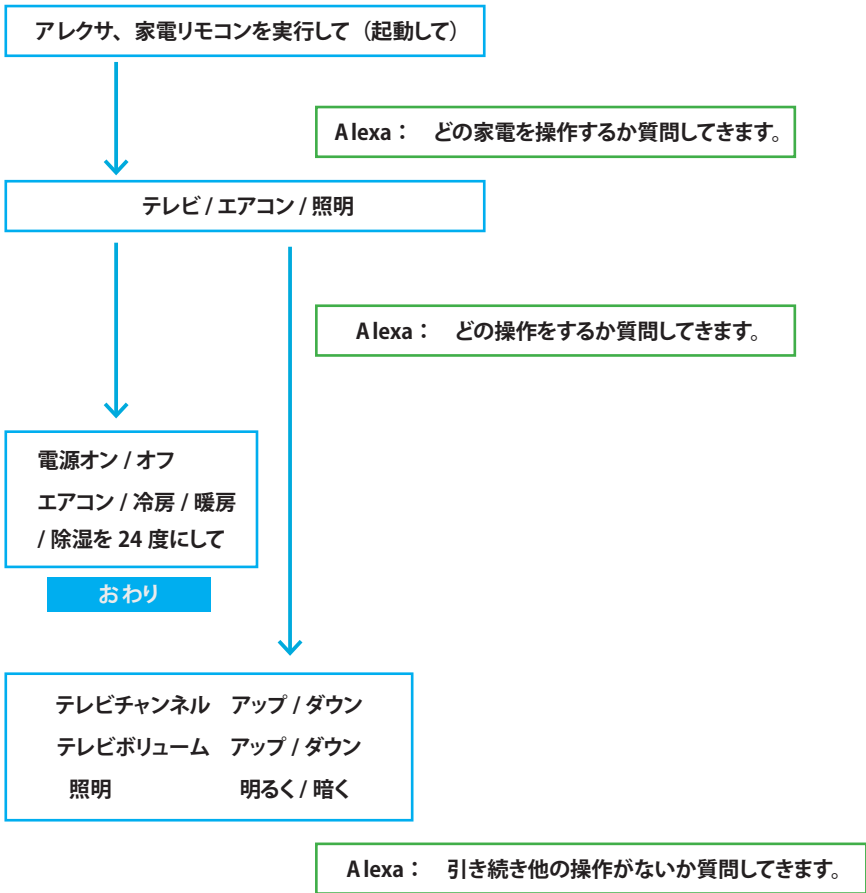
アレクサ、家電リモコンを使って（家電リモコンで）

テレビ	電源	テレビをつけて / 入れて テレビを消して / 切って
	チャンネル	チャンネルを1にして / 1チャンネルに変えて チャンネルをあげて チャンネルをさげて
	ボリューム （音量）	ボリュームを3つあげて / 大きくして ボリュームを3つさげて / 小さくして 消音にして / ミュートにして 消音を解除して / アンミュートにして
エアコン	電源	エアコンをつけて / オンにして 24度でエアコンをつけて エアコンを消して / 切って / オフにして 暖房をつけて / 暖房にして 24度で暖房をつけて 暖房を消して / 暖房切って 冷房をつけて / 冷房にして 18度で冷房をつけて 冷房を消して / 冷房を切って
	温度設定	エアコンを 24℃にして 冷房を 18℃にして 暖房を 24℃にして
	除湿設定	除湿を 4℃にして ※温度相対指定のとき 除湿を強 / 弱にして※温度強弱指定のとき 60%で除湿して ※湿度 % 指定のとき
照明	電源	電気をつけて / 入れて 電気を消して / 切って
	照度	明るくして / 明るめにして 暗くして / 暗めにして

※チャンネルアップ / ダウン、ボリュームアップ / ダウン、照明の明るく / 暗くのあとは、引き続き他の操作がないか質問してきます

[＜目次に戻る＞](#)

②対話形式で操作をする場合



③一度に電源オン / オフする場合

アレクサ、家電リモコンを使って（家電リモコンで）

全部つけて	全部オンにして / まとめてオンにして
全部消して	全部オフにして / まとめてオフにして

就寝時、外出時などに使うととても便利な機能です。

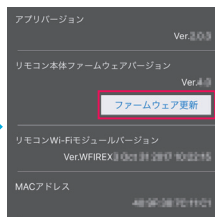
こんなときは

「こんなときはどうしたらいいの?」といったご質問をまとめています。

ファームウェアを更新する

機能の充実や改良により、本製品本体のファームウェアをバージョンアップすることがあります。アプリ更新後、以下の手順でファームウェアを更新してください。ファームウェア更新は、本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続しているスマホからのみおこなえます。

1 [バージョン情報] から [ファームウェア更新] をタップします



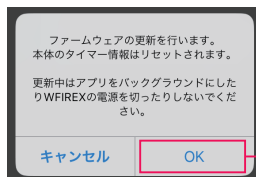
① [バージョン情報] をタップします。

② [ファームウェア更新] ボタンをタップします。

こんなときは [ファームウェア更新] が押せない
アプリ更新後でもボタンが押せない場合、
ファームウェアの更新はありません。

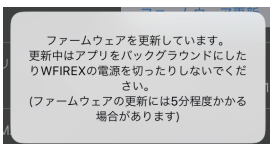


2 ファームウェアが更新されます

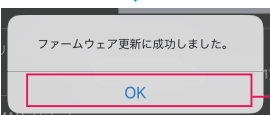


① ファームウェア更新実行のメッセージが表示されます。[OK] をタップします。

タイマー情報は消去されます。ファームウェアの更新後、再設定をお願いします。



ファームウェアの更新中は、製品本体の電源を切らないでください。故障の原因となります。



② [OK] をタップします

こんなときは ファームウェア更新に失敗した

再度 [ファームウェアの更新] ボタンをタップすると、更新処理を再開します。

以上で、ファームウェアの更新は完了です。

[<目次に戻る>](#)

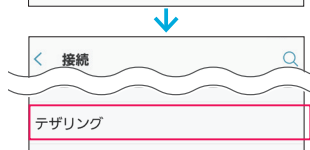
こんなときは

テザリングで接続する（Android 端末）

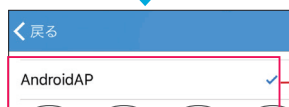
テザリング機能を使用すると、その端末を Wi-Fi ルーター（親機）として、本製品や他の端末を Wi-Fi 接続できるようになります。以下は、Galaxy S6 のテザリングを使う場合の設定方法です。



1 設定でテザリングをオンにする



2 本製品を Wi-Fi 接続する



本製品は Android 端末のみテザリングによる接続が可能です

別途、アプリ「家電リモコン」がインストールされたスマホを用意します。本製品との接続は、通常の Wi-Fi ルーター接続時と同様におこないます。
手動設定の手順は ⇒ [16 ページ](#)

<目次に戻る>

よくある質問

ラトックシステムホームページのよくある質問をご参照ください。

RS-WFIREX3 : <http://www.ratocsystems.com/services/faq/wfirex3.html>

REX-WFIREX2 : <http://www.ratocsystems.com/services/faq/wfirex2.html>

REX-WFIREX1 : <http://www.ratocsystems.com/services/faq/wfirex1.html>

製品・修理に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の携帯端末、OS、接続機器などの環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。ご質問に対する回答は、下記の営業時間内となります。ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社サポートセンター

TEL : 大阪 06-6633-0190 東京 03-5847-7604

FAX : 06-6633-3553(FAX/ メールは 24 時間受付)

メール : <https://web1.ratocsystems.com/mail/support.html>

〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

営業時間 : 月～金 10 : 00 ～ 13 : 00 14 : 00 ～ 17 : 00 土・日・祝・弊社指定休日除く

修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まずマニュアルを参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。なお、修理は部品修理ではなく、交換対応となることをご了承ください。修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

※本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。

※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

※本紙の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

※本製品および本紙に記載されている会社名および製品名は、各社商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記していません。

※“REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。